

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

2022年度3Q（4-12月） 決算説明資料

2023年2月3日

※本資料は、P.30の内容を修正して再掲示しています。
2023年4月30日

01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

04 外部環境データ

01 決算ハイライト：セグメント変更

※億円未満は四捨五入

- ✓ 今期より、セグメントを商品区分単位から組織単位に変更。
- ✓ 今期より、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更。
- ✓ 本資料の前年実績は、いずれもセグメント変更後の組替値を使用しており、前年公表値とは異なります。

参考：前期（2021年度）セグメント変更前後比較

単位：億円

		2021年度														
		上期			3Q			4Q			下期			通期		
		変更後 (新)	変更前 (旧)	変更 影響値	変更後 (新)	変更前 (旧)	変更 影響値	変更後 (新)	変更前 (旧)	変更 影響値	変更後 (新)	変更前 (旧)	変更 影響値	変更後 (新)	変更前 (旧)	変更 影響値
加工食品事業	売上高	1,758	1,483	+275	1,037	865	+172	818	675	+143	1,855	1,541	+315	3,613	3,023	+590
	営業利益	69	65	+4	47	44	+4	4	2	+2	52	46	+6	121	111	+10
	営業利益率(%)	3.9	4.4	▲0.4	4.6	5.1	▲0.5	0.5	0.3	0.2	2.8	3.0	▲0.2	3.3	3.7	▲0.3
	経常利益	72	67	+4	48	45	+4	5	3	+2	53	48	+6	125	115	+10
	経常利益率(%)	4.1	4.5	▲0.5	4.6	5.1	▲0.5	0.6	0.4	0.2	2.9	3.1	▲0.2	3.5	3.8	▲0.3
食肉事業	売上高	2,399	2,674	▲275	1,331	1,503	▲172	1,159	1,301	▲143	2,490	2,804	▲315	4,889	5,478	▲590
	営業利益	82	86	▲4	41	44	▲4	16	18	▲2	57	63	▲6	138	149	▲10
	営業利益率(%)	3.4	3.2	+0.2	3.0	2.9	+0.1	1.4	1.4	▲0.0	2.3	2.2	+0.0	2.8	2.7	+0.1
	経常利益	99	103	▲4	55	58	▲4	23	25	▲2	78	84	▲6	176	187	▲10
	経常利益率(%)	4.1	3.9	+0.3	4.1	3.9	+0.2	2.0	1.9	+0.0	3.1	3.0	+0.1	3.6	3.4	+0.2

01 決算ハイライト：3Q累計業績（全社）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 売上高は、食肉価格の上昇、加工食品の価格改定により、+7.0%の増収。
- ✓ 経常利益は、海外事業アンスコフーズ社と加工食品の価格改定が大きく貢献も、原材料高及び数量減をカバーできず、▲2.9%の減益。

22年度 3Q（累計）実績

単位：億円

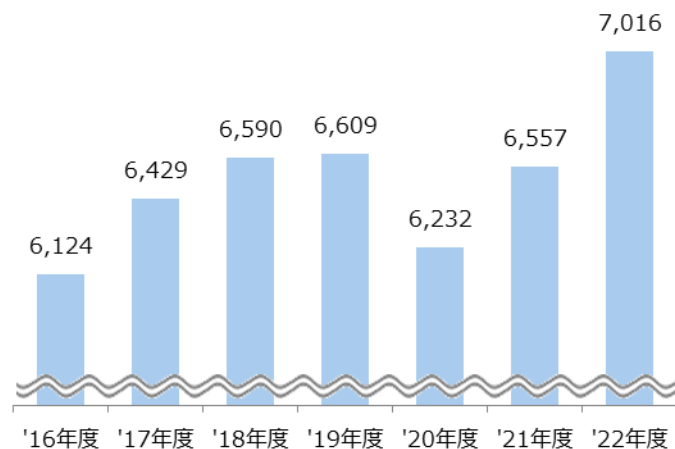
	金額	利益率	前年比 増減額	増減率
売上高	7,016	-	+459	+7.0%
営業利益	239	3.4%	+8	+3.4%
経常利益	260	3.7%	▲8	▲2.9%
当期純利益	178	2.5%	▲8	▲4.5%

01 決算ハイライト：3Q累計業績推移（全社）

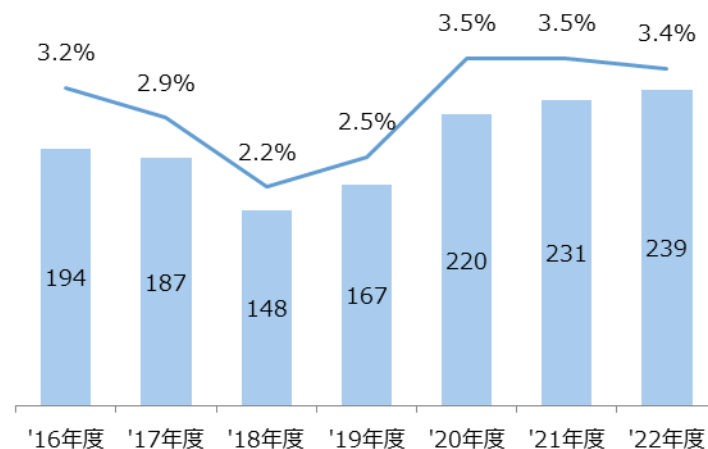
※億円未満は四捨五入

単位：億円

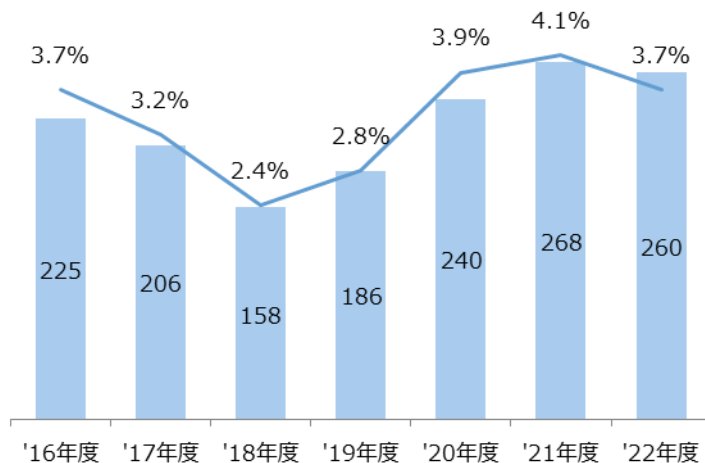
売上高



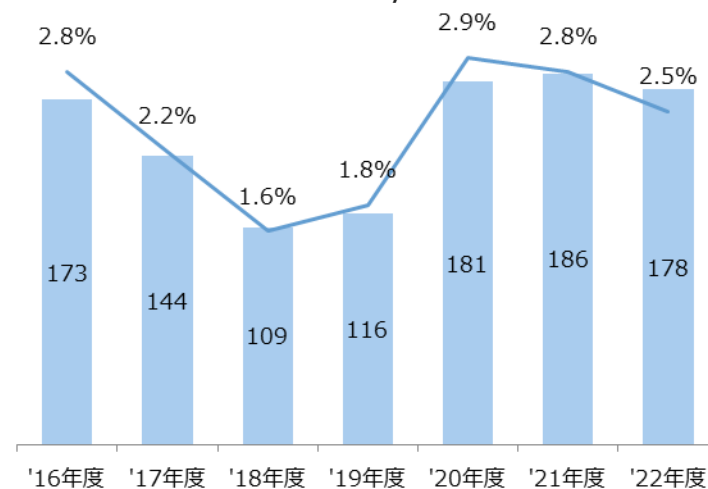
営業利益/利益率



経常利益/利益率



当期純利益/利益率



※売上高および各利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

01 決算ハイライト：3Q累計業績（セグメント別）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 加工食品事業は、原材料・光熱費の上昇を価格改定でカバーし切れず、経常利益▲31.1%の減益。
- ✓ 食肉事業は、世界的な食肉価格上昇により、アンズコフーズ社の業績が好調に推移し、経常利益＋20.9%の増益。

セグメント別 22年度 3Q（累計）実績

単位：億円

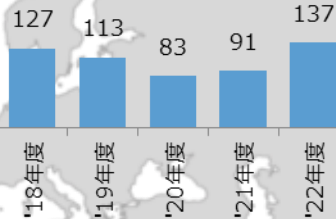
		金額	利益率	前年比	
				増減額	増減率
加工食品 事業	売上高	2,860	-	+65	+2.3%
	営業利益	78	2.7%	▲39	▲33.0%
	経常利益	83	2.9%	▲37	▲31.1%
食肉 事業	売上高	4,123	-	+393	+10.5%
	営業利益	172	4.2%	+50	+40.7%
	経常利益	185	4.5%	+32	+20.9%

01 決算ハイライト：3Q累計業績（地域別売上高）

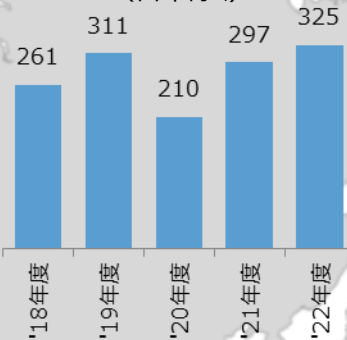
※億円未満は四捨五入

- ✓ 海外売上高は、アンズコフーズ社の牛肉・羊肉輸出が主。
- ✓ 今期は、US国内の挽肉需要高により北米向けが大きく伸長。
- ✓ 長期的には、中国を中心としたアジア向けが伸長。

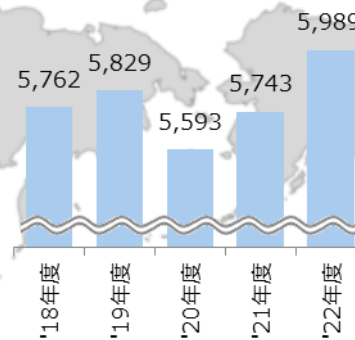
欧州



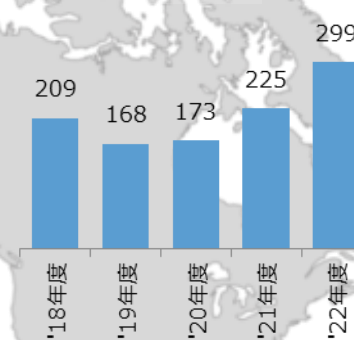
アジア
(日本除く)



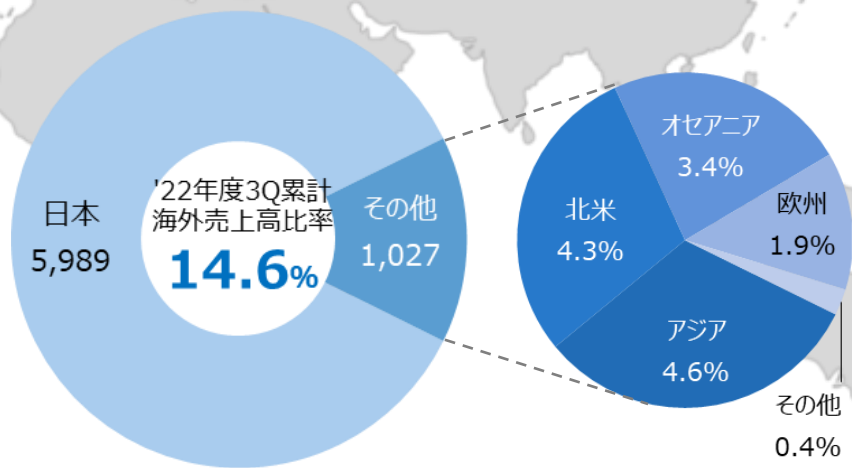
日本



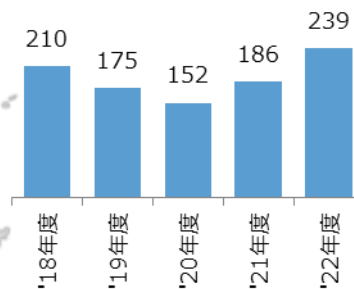
北米



単位：億円



オセアニア



※売上高は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

01 決算ハイライト：通期業績予想（全社）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 原材料・光熱費上昇が大きく響き、経常利益▲16.1%の減益を見込む。
- ✓ 事業を取り巻く環境は厳しいが、内部改善、加工食品の価格改定などを着実に進め、利益の積み上げを図っていく。

22年度通期 業績予想

単位：億円

	金額	利益率	前年比 増減額	前年比 増減率	前回予想 (11/8開示)	修正額
売上高	9,000	-	+456	+5.3%	8,950	+ 50
営業利益	220	2.4%	▲26	▲10.6%	210	+ 10
経常利益	240	2.7%	▲46	▲16.1%	240	-
当期純利益	150	1.7%	▲41	▲21.5%	150	-

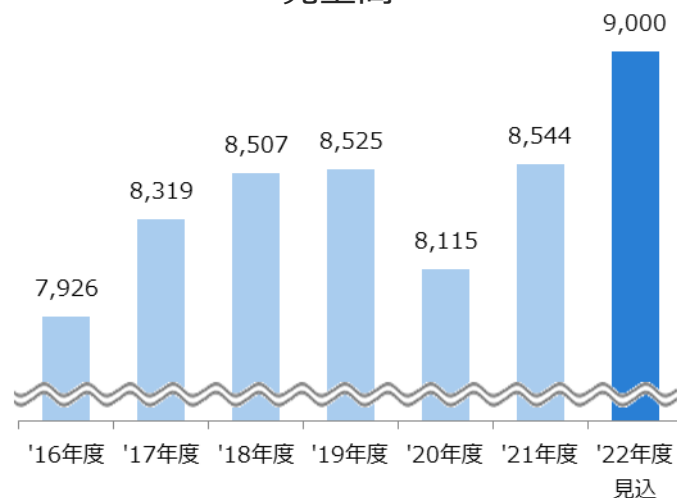
※11/8開示の通期業績予想から売上高、営業利益を修正

01 決算ハイライト：通期業績推移（全社）

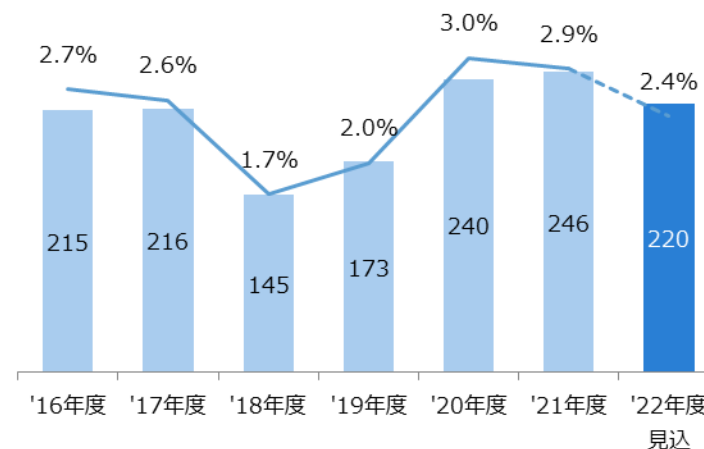
※億円未満は四捨五入

単位：億円

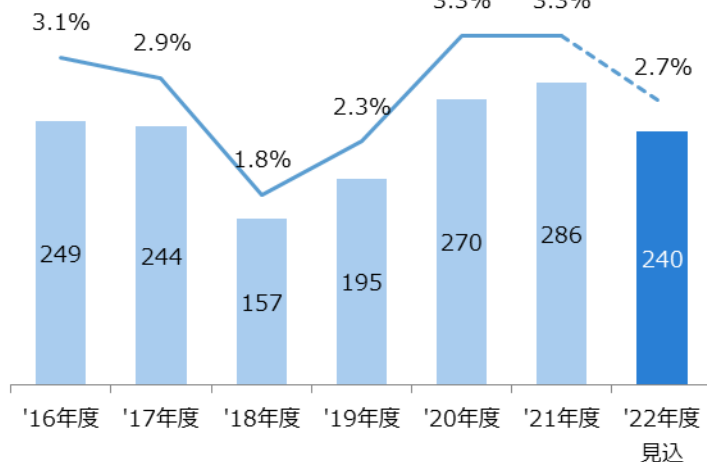
売上高



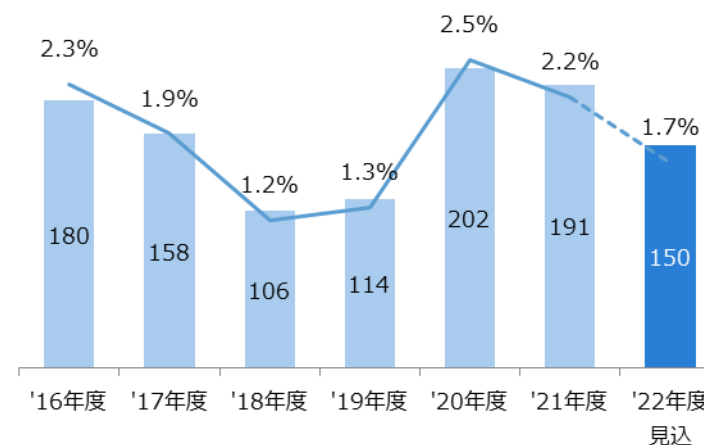
営業利益/利益率



経常利益/利益率



当期純利益/利益率



※売上高および各利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

01 決算ハイライト：通期業績予想（セグメント別）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 加工食品事業は、原材料高が響き、経常利益▲52.0%の大幅減益を見込む。
- ✓ 食肉事業は、好調なアンズコフーズ社が、国内事業の仕入価格上昇による苦戦をカバーし、経常利益+12.3%の増益を見込む。

セグメント別 22年度通期 業績予想

単位：億円

		金額	利益率	前年比		前回予想 (11/8開示)	修正額
				増減額	増減率		
加工食品 事業	売上高	3,700	-	+87	+2.4%	3,700	+0
	営業利益	55	1.5%	▲66	▲54.5%	71	▲16
	経常利益	60	1.6%	▲65	▲52.0%	75	▲15
食肉 事業	売上高	5,260	-	+371	+7.6%	5,210	+50
	営業利益	183	3.5%	+45	+32.5%	165	+18
	経常利益	198	3.8%	+22	+12.3%	192	+6

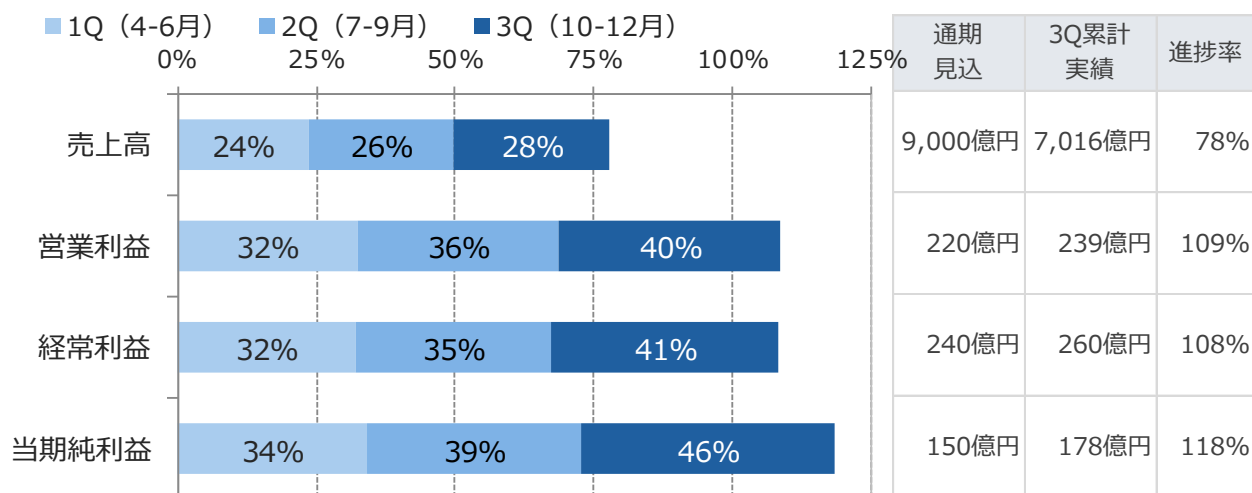
※ 詳細は[P.40【通期業績予想 詳細】](#)参照

01 決算ハイライト：通期業績予想（進捗）

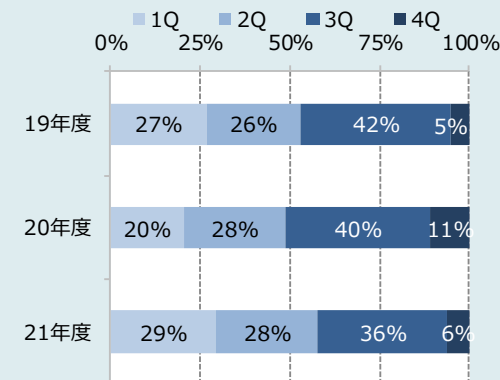
※億円未満は四捨五入

✓ 各段階利益は、通期予想の100%以上で進捗も、4Qは苦戦予想。

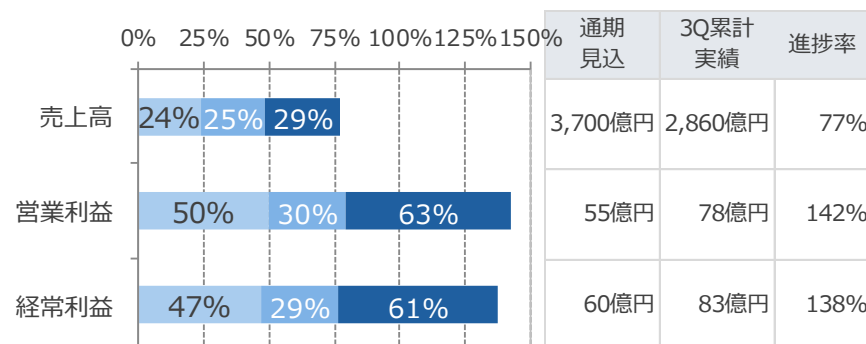
全体



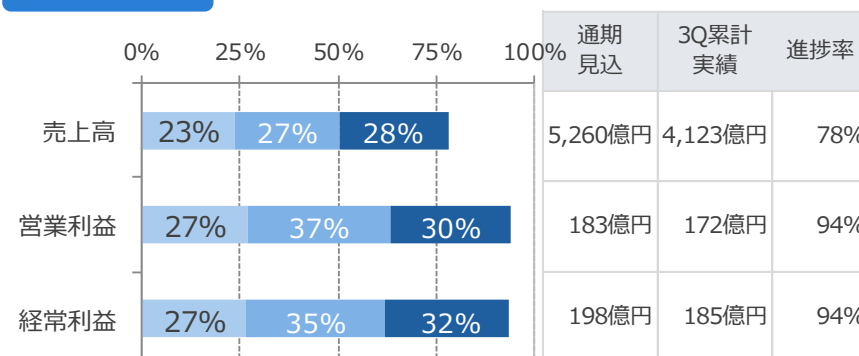
参考：経常利益進捗状況（経年推移）



加工食品事業



食肉事業



01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

04 外部環境データ

01 決算ハイライト：22年度3Q累計実績（加工食品）

※億円未満は四捨五入

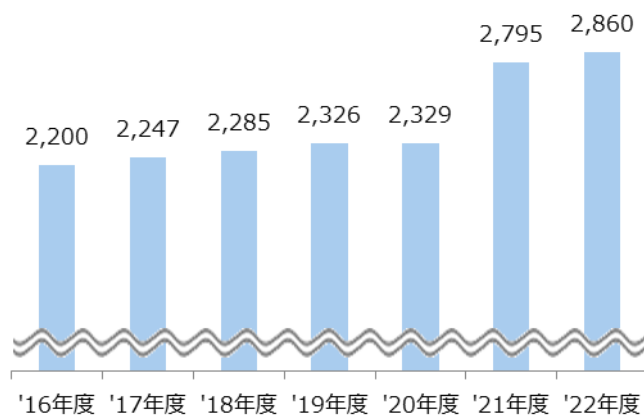
✓ 原材料・光熱費の上昇を価格改定でカバーし切れず、経常利益▲31.1%減益。

セグメント別 22年度 3Q（累計）実績

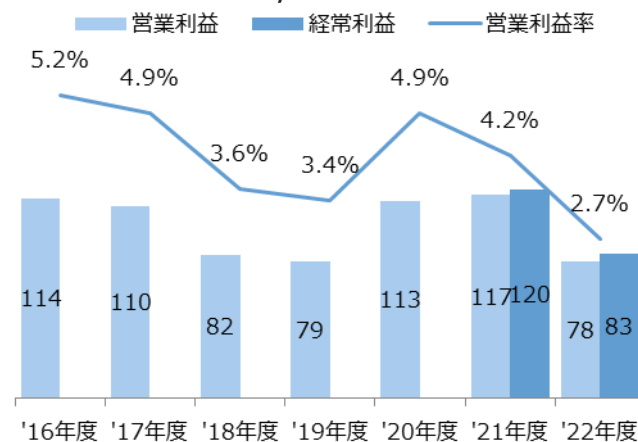
単位：億円

		金額	利益率	前年比	
				増減額	増減率
加工食品 事業	売上高	2,860	-	+65	+2.3%
	営業利益	78	2.7%	▲39	▲33.0%
	経常利益	83	2.9%	▲37	▲31.1%

売上高



利益/利益率



※1:売上高および利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

※2:売上高、利益、利益率のいずれも'21年度よりセグメント変更後数値

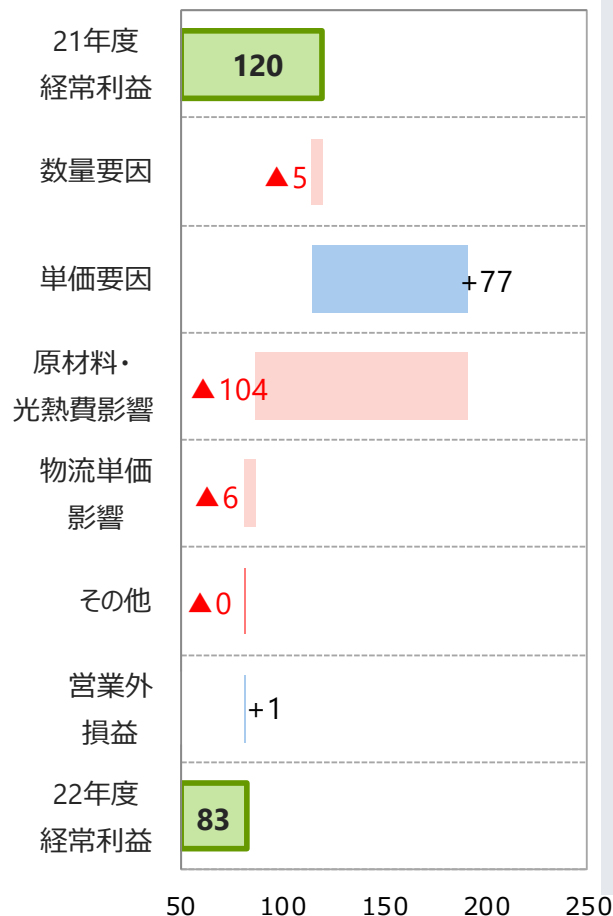
01 決算ハイライト：22年度3Q累計実績（加工食品）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 販売単価は、ハム・ソーセージ+4.6%、調理加工食品+2.5%上昇。
- ✓ 原材料・光熱費負荷（▲104億円）が価格改定効果（+85億円）を上回る。

経常利益増減要因

単位：億円



【数量要因】

・価格改定、および消費者の買い控えにより数量減

【単価要因】

・価格改定効果 + 85億円
・製造人件費の上昇、他 ▲ 8億円

《重量・金額 実績》

	アンズコ除く 22年度3Q累計 自社		(参考) 22年度4-11月 市況	
	重量	金額	重量	金額
ハム・ソーセージ	▲1.0%	+3.6%	▲1.8%	-
調理加工食品	▲3.3%	▲0.8%	-	+2.4%

※1 「食肉加工品生産数量」ハム・ソーセージ国内流通量（国内+輸入）

※2 「総務省家計調査」世帯当たり支出金額_名目増減率_前年同月比

【原材料、光熱費影響】

・主原料 ▲ 40億円
・副原料 ▲ 41億円
・ユーティリティコスト ▲ 23億円

【物流単価影響】

燃料費の上昇

3Q累計 詳細

単位：億円

	上期 実績	3Q 実績	3Q累計 実績
21年度 経常利益	72	48	120
数量要因	▲4	▲2	▲5
単価要因	+35	+42	+77
原材料・光熱費影響	▲54	▲50	▲104
物流単価影響	▲3	▲3	▲6
その他	+0	▲0	▲0
営業外損益	▲0	+1	+1
22年度 経常利益	46	37	83

01 決算ハイライト：22年度通期予想（加工食品）

※億円未満は四捨五入

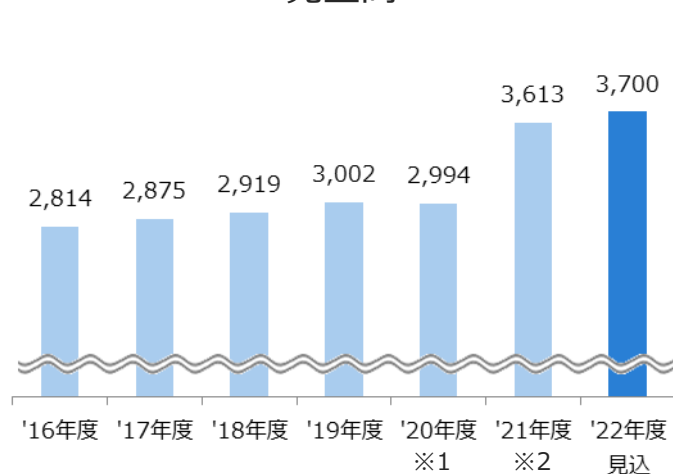
- ✓ 原材料・光熱費の上昇を価格改定でカバーし切れず、経常利益▲52.0%減益予想。

セグメント別 22年度通期 業績予想

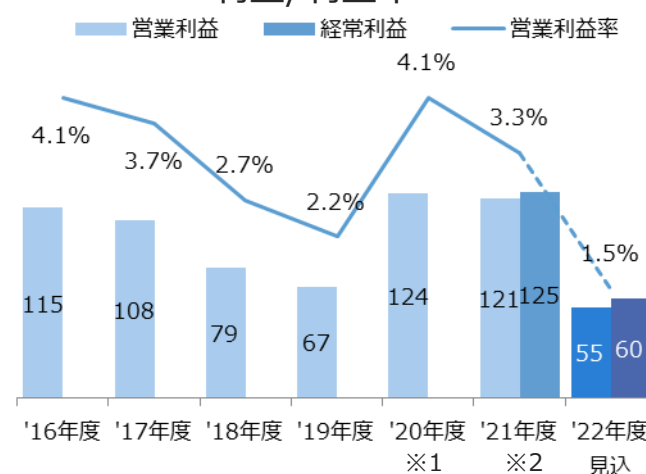
単位：億円

		金額	利益率	前年比		前回予想 (11/8開示)	修正額
				増減額	増減率		
加工食品 事業	売上高	3,700	-	+87	+2.4%	3,700	+0
	営業利益	55	1.5%	▲66	▲54.5%	71	▲16
	経常利益	60	1.6%	▲65	▲52.0%	75	▲15

売上高



利益/利益率



※1:売上高および利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

※2:売上高、利益、利益率のいずれも'21年度よりセグメント変更後数値

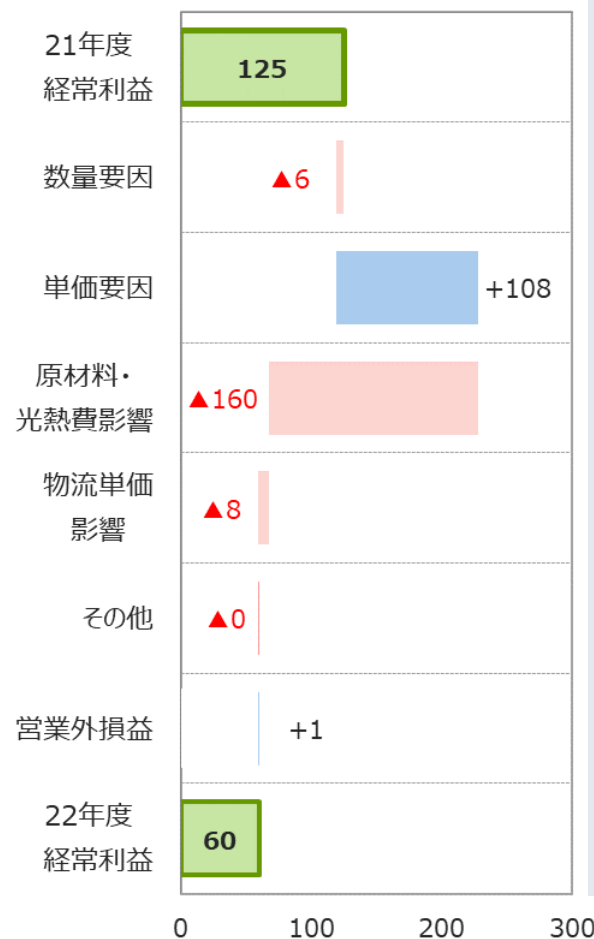
01 決算ハイライト：22年度通期予想（加工食品）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 価格改定を10月より再実施。
- ✓ 原材料の高止まり等により、原材料・光熱費負荷は、▲160億円（前回11/8発表時から▲20億円悪化）を見込む。

経常利益増減要因

単位：億円



【数量要因】

- ・価格改定および消費者の買い控えによる数量減

【単価要因】

- ・価格改定の実行 + 114億円
- ・生産最適化推進 } + 3億円
- ・主要ブランド強化
- ・製造人件費の上昇、他 ▲ 9億円

《重量・金額 予想》 ※アンスコ除く

	重量	金額
ハム・ソーセージ	▲0.9%	+4.7%
調理加工食品	▲2.7%	+0.0%

【原材料、光熱費影響】

- ・主原料 ▲ 64億円
- ・副原料 ▲ 65億円
- ・ユーティリティコスト ▲ 31億円

3Q累計 4Q 詳細

単位：億円

	3Q累計	4Q	通期
	2/3更新	2/3更新	2/3更新
21年度 経常利益	120	5	125
数量要因	▲5	▲1	▲6
単価要因	+77	+32	+108
原材料・光熱費影響	▲104	▲56	▲160
物流単価影響	▲6	▲2	▲8
その他	▲0	▲0	▲0
営業外損益	+1	▲0	+1
22年度 経常利益	83	▲23	60

01 決算ハイライト：トピックス（加工食品）

※億円未満は四捨五入

◆価格改定進捗 ※数量要因は含まず

- ✓ 1-2回目ともに**当初想定内の価格改定効果**。
- ✓ 価格改定を着実に実行も、想定を上回る原材料・光熱費負荷をカバーしきれない見込。

'22年度 価格改定効果、原材料・光熱費影響見込 □

単位：億円

	1Q実績 ①	2Q実績 ①	上期実績 ①	3Q実績 ①+②	4Q見込 ①+②	下期見込 ①+②	通期見込 ①+②
価格改定効果	+ 19	+ 23	+ 42	+ 42	+ 30	+ 72	+ 114
原材料・光熱費影響	▲ 24	▲ 30	▲ 54	▲ 50	▲ 56	▲ 106	▲ 160
差額	▲ 5	▲ 7	▲ 12	▲ 8	▲ 26	▲ 34	▲ 46

①：1回目価格改定（'22年3月実施）

②：2回目価格改定（'22年10月実施）

◆3回目価格改定（'23年4月実施予定）

- ✓ きめ細かいシミュレーションと得意先対応を実施する。
- ✓ '23年度は、2回目効果（上期で一巡）と合わせ、**原材料・光熱費負荷をカバーする**。

対象 商品	家庭用ハム・ソーセージ	126 品目	※
	家庭用調理食品	73 品目	※
	業務用	92 品目	※
内容	商品規格変更および納品価格改定		
改定率	約5%～20%		

※ 伊藤ハム商品、米久商品の合計値

01 決算ハイライト：トピックス（加工食品）

◆伊藤ハムブランドと米久ブランドの使い分け



✓ カテゴリーNo.1商品の追求



The GRAND
アルトバイエルン



朝のフレッシュ
ローズハム



ラ・ピッツァ



✓ オンリーワン商品の追求



王様の
ローストビーフ



豚肉の
味噌煮込み



骨なし
スペアリブ

◆新規チャネル・市場への取り組み

✓ 海外展開へのチャレンジ

- ABC社（持分法適用会社 タイ）の活用



- IPC社（持分法適用会社 米国）加工食品工場の活用



INDIANA PACKERS
CORPORATION



01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

04 外部環境データ

01 決算ハイライト：22年度3Q累計実績（食肉）

※億円未満は四捨五入

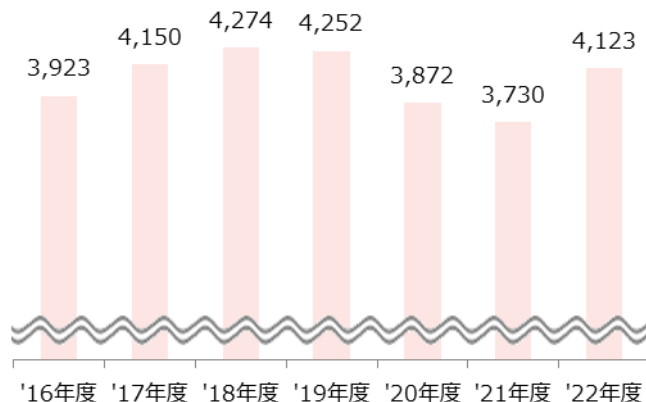
- ✓ 世界的な食肉価格上昇により、アンズコフーズ社の業績が好調に推移し、経常利益+20.9%増益。

セグメント別 22年度 3Q（累計）実績

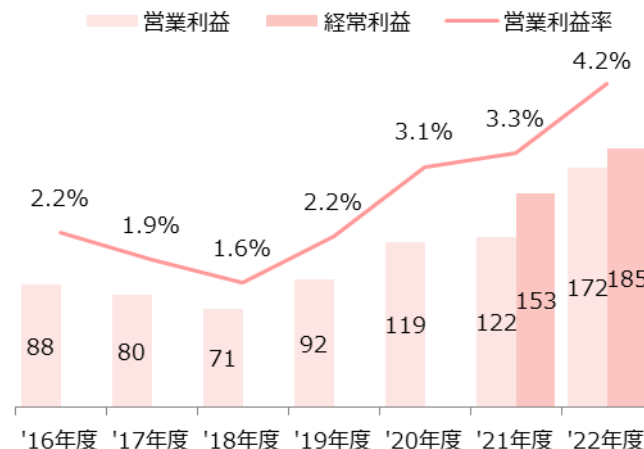
単位：億円

		金額	利益率	前年比	
				増減額	増減率
食肉事業	売上高	4,123	-	+393	+10.5%
	営業利益	172	4.2%	+50	+40.7%
	経常利益	185	4.5%	+32	+20.9%

売上高



利益/利益率



※1:売上高および利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

※2:売上高、利益、利益率のいずれも'21年度よりセグメント変更後数値

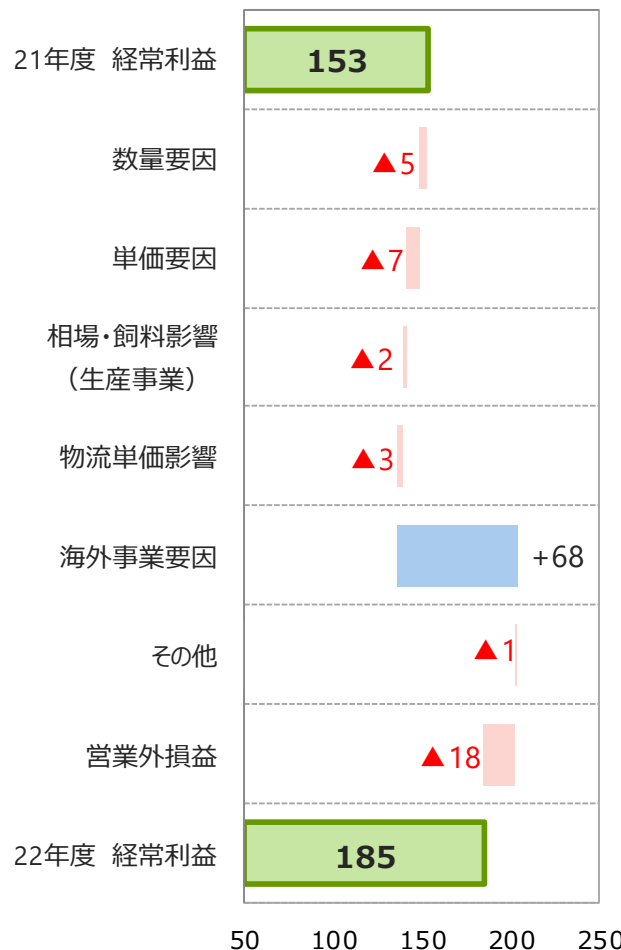
01 決算ハイライト：22年度3Q累計実績（食肉）

※億円未満は四捨五入

- ✓ 世界的な食肉価格上昇により、アンズコフーズ社の業績は大幅増益（+68億円）。
- ✓ 配合飼料価格上昇により、生産事業の収益は悪化（▲2億円の負荷）。

経常利益増減要因

単位：億円



【数量要因】

・現地調達価格の高止まりと国内需要減退により、輸入鶏、輸入牛の数量減

【単価要因】

・輸入鶏および輸入牛の仕入価格上昇を販売価格に反映しきれず
・国産牛、国産豚、輸入豚は収益改善

《重量・金額 実績》

	自社(アンズコ除く)		4-11月 市況
	重量	金額	推定出荷量
牛肉	▲4.4%	+4.7%	▲0.4%
豚肉	▲1.3%	+6.2%	+1.0%
鶏肉	▲9.5%	+11.6%	▲2.0%

※ 加工品仕向を除く部分肉ベース（当社試算）

【相場・飼料影響（生産事業）】

・国産豚、国産鶏の相場上昇も、配合飼料価格上昇分をカバーしきれず

【物流単価影響】

・エネルギー価格上昇および庫腹不足による物流費（保管料）の増加

【営業外損益】

・インディアナパッカーズ（US）の持分法利益減少

3Q累計 詳細

単位：億円

	上期	3Q	3Q累計
	実績	実績	実績
21年度経常利益	99	55	153
数量要因	▲5	+0	▲5
単価要因	▲1	▲6	▲7
相場・飼料影響 (生産事業)	▲3	+1	▲2
物流単価影響	▲2	▲1	▲3
海外事業要因	+46	+22	+68
その他	▲1	▲1	▲1
営業外損益	▲11	▲7	▲18
22年度経常利益	123	63	185

01 決算ハイライト：22年度通期予想（食肉）

※億円未満は四捨五入

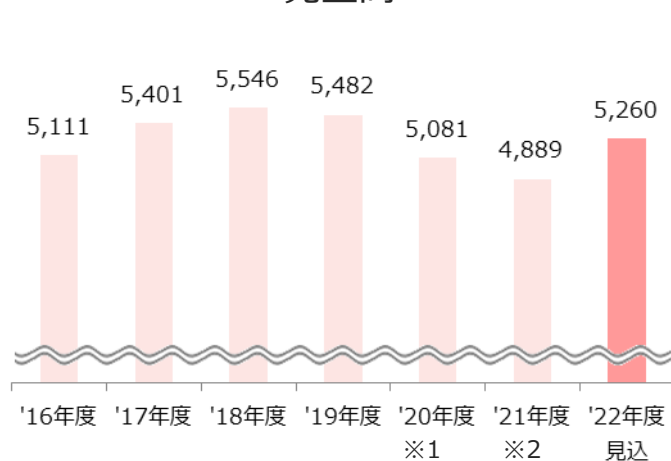
✓ 好調なアンズコフーズ社が牽引し、経常利益+12.3%増益予想。

セグメント別 22年度通期 業績予想

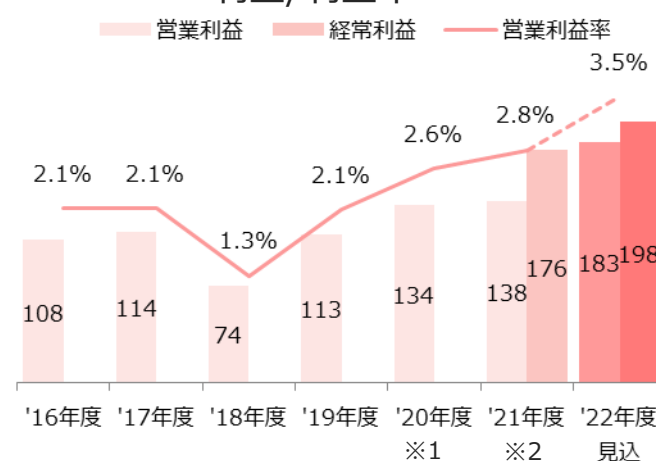
単位：億円

		金額	利益率	前年比		前回予想 (11/8開示)	修正額
				増減額	増減率		
食肉 事業	売上高	5,260	-	+371	+7.6%	5,210	+50
	営業利益	183	3.5%	+45	+32.5%	165	+18
	経常利益	198	3.8%	+22	+12.3%	192	+6

売上高



利益/利益率



※1:売上高および利益率は、'20年度より新収益認識基準適用後数値

※2:売上高、利益、利益率のいずれも'21年度よりセグメント変更後数値

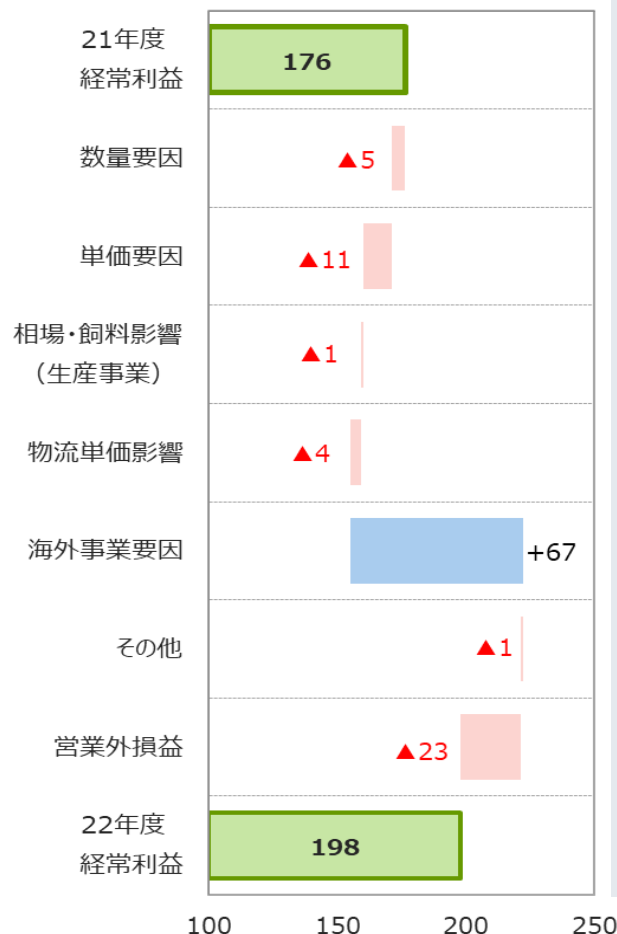
01 決算ハイライト：22年度通期予想（食肉）

※億円未満は四捨五入

- ✓ アンズコフーズ社は好調継続し、+67億円の増益を見込む。
- ✓ 国内事業は、仕入価格上昇、需要減退などにより、数量要因▲5億円、単価要因▲11億円の減益を見込む。

経常利益増減要因

単位：億円



【数量要因】

- ・国内需要減退

【単価要因】

- ・仕入価格上昇分を販売価格に反映し切れず

《重量・金額 予想》 ※アンズコ除く

	重量	金額
牛肉	▲3.8%	+3.6%
豚肉	▲1.4%	+6.4%
鶏肉	▲7.4%	+12.3%

【相場・飼料影響（生産事業）】

- ・配合飼料価格上昇による収益悪化

【海外事業要因】

- ・世界的な食肉相場高による
アンズコフーズ社販売価格上昇

【営業外損益】

- ・インディアナパッカーズ（US）の
持分法利益減少

3Q累計 4Q 詳細

単位：億円

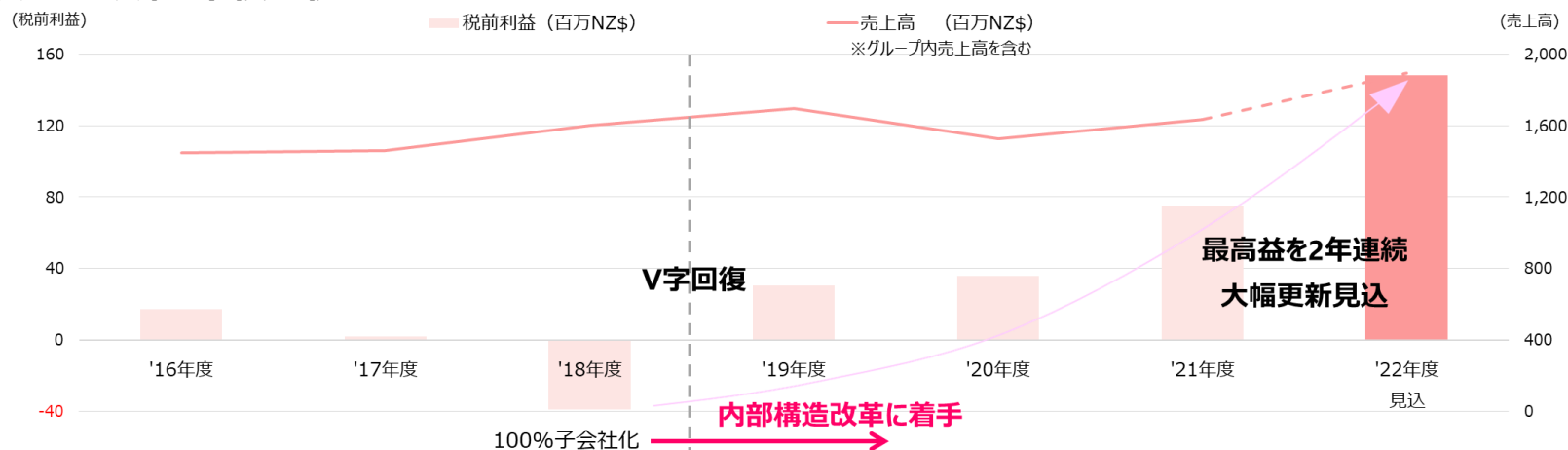
	3Q累計 2/3更新	4Q 2/3更新	通期 2/3更新
21年度 経常利益	153	23	176
数量要因	▲5	+0	▲5
単価要因	▲7	▲4	▲11
相場・飼料影響 (生産事業)	▲2	+1	▲1
物流単価影響	▲3	▲1	▲4
海外事業要因	+68	▲1	+67
その他	▲1	+0	▲1
営業外損益	▲18	▲5	▲23
22年度 経常利益	185	13	198

01 決算ハイライト：トピックス（食肉）

● 海外事業

食肉海外事業説明会資料

◆アンズコフーズ社 業績推移



'23年度外部環境予測

- NZ国内物価高により、コストは**上昇予測**
- 世界的な牛肉相場は下げも、米国牛肉生産量減により**下げ幅は限定的の予測**

	前年比
'23年度 米国牛肉生産量予測	▲ 6.6%

資料：USDA

◆海外事業の収益安定

✓ ヘルスケア事業強化

副産物を有効活用し、
グループ全体の収益性を高める

→ P.30参照

牛由来血液製剤事業

世界シェア**2位** (18%)

※当社調べ



✓ 加工食品事業強化

【Angel Bay】
GOURMET VEGGIE

・アンズコフーズ社が製造・販売する
ノンミートバーガーパテ



01 決算ハイライト：トピックス（食肉）

● 国内事業

◆ 国内事業の収益向上

✓ 生産事業（処理カット事業）強化

- 伊佐ミートプラント開設
2023年度上期稼働開始予定



南九州エリアでの集荷・供給体制を確固たるものとする

- ① { 有明ビーフプラント
有明ポークプラント
- ② 霧島ミートプラント
- ③ 伊佐ミートプラント

- 十和田ミートプラント牛処理施設建設
2023年度下期稼働開始予定



(イメージ図)

和牛輸出事業の拡大を図る

アニマルウェルフェアに配慮した最新設備を導入

→ P.30参照

◆ 国内事業の収益安定

✓ ブランドミート強化

- サステナビリティミートの強化 地域産品副産物の有効活用、循環型農業の推進 など



あきた ほろよいとん

- ・秋田県内の酒蔵で出た「酒かす」を加えた配合飼料で育てた豚肉
- ・廃棄されていた「酒かす」を有効活用 国内の飼料自給率向上にも期待

✓ 製販が連動した在庫管理の徹底

01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

04 外部環境データ

02 7つのマテリアリティ

✓ グループ理念「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」のもと、【ステークホルダーにとっての重要度】と【伊藤ハム米久グループにとっての重要度】の観点から、2021年度『7つのマテリアリティ』と、2022年度その達成に向けた『KPI』を設定。

7つのマテリアリティ

健やかで豊かな
食生活の実現



KPI → [P.27](#)

地球環境への
配慮



KPI → [P.28](#)

従業員一人
ひとりが活躍できる
職場づくり



KPI → [P.29](#)

持続可能な調達と
安定供給の推進



KPI → [P.30](#)

地域社会への
貢献



コーポレート・
ガバナンスの強化



妥協しない
美味しさと高品質への
こだわり



[伊藤ハム米久ホールディングスのマテリアリティ](#)



✓ 4つの取り組み項目と、KPIとして「食品安全の第三者認証拠点数」を設定。

取り組み項目	KPI	2022年度	目標
● 安全・安心な食品の提供	食品安全の第三者認証拠点数	45施設中43施設	2023年度 国内全生産施設(45施設)取得完了
● 良質なたんぱく質の提供			
● 多様なライフスタイルに対応した商品開発と健康価値の提供			
● 食品ロス低減につながる商品の拡大			

トピックス1：安全・安心な食品の提供

2023年度国内の全生産施設において 食品安全の第三者認証を取得

2022年度実績 45施設中43施設にて認証取得済
(ISO22000、FSSC22000、JFS-B/C、その他HACCP認証)



2022年度 石狩パックセンターにて、ISO22000を取得

トピックス2：良質なたんぱく質の提供

株式会社 明治、マルハニチロ株式会社と協業
たんぱく質から、人生100年時代のウェルビーイングを実現するコンソーシアム

『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』参画



2022年11月、全国で最も朝食欠食率の高い沖縄県で小学生向けに
食育イベントを開催。

(設立企業)

meiji

MARUHA NICHIRO

伊藤ハム

yonekyu

めざせ1日80g/
たんぱく
摂ろう会

[『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』特設サイト](#)

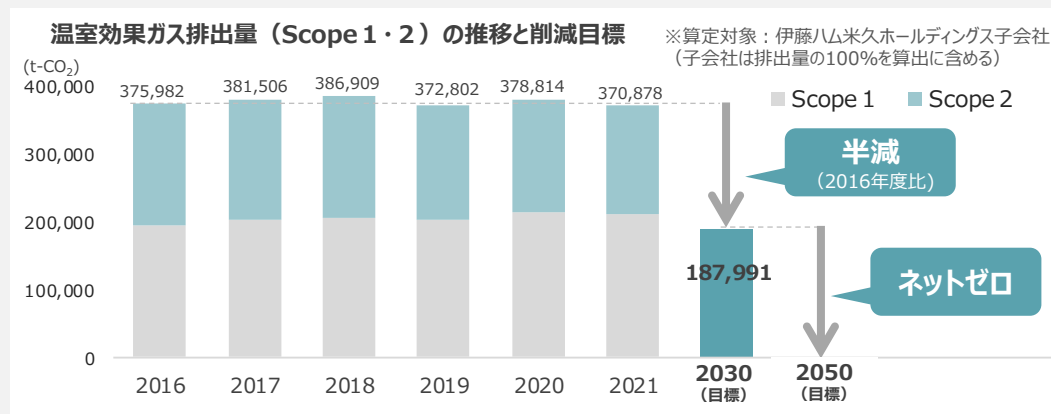
02 地球環境への配慮 KPI・トピックス

- ✓ 5つの取り組み項目と、KPIとして「温室効果ガス排出量」「エネルギー・用水使用量」「廃棄物排出量」を設定。

取り組み項目	KPI	2021年度	目標
● 温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量 (CO2換算) (Scope1・2)	370,878t	2030年度半減 (※2016年度比)、2050年ネットゼロ
● エネルギー・用水使用量の削減	エネルギー・用水使用量 (原単位)	エネルギー:9.8GJ/t 用水:17.6m ³ /t	毎年1%削減、3年で3%削減 (※2021年度基準年)
● 廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 (原単位)	101.2kg/t	毎年1%削減、3年で3%削減 (※2021年度基準年)
● 生物多様性の保全			
● プラスチック使用量の削減			

トピックス1：温室効果ガス排出量の削減

- 温室効果ガス排出量 (Scope1・2) **2030年度半減、2050年ネットゼロ**を目指す
削減目標達成に向けたロードマップの策定、および削減を促進する社内制度を検討中
- 2023年度上期中に開示するべく、**Scope 3排出量を算定中**



2021年度 実績 **370,878t**

行動計画

- 太陽光発電設備の設置
- エネルギー効率の高い設備の導入
- 冷蔵・冷凍設備の代替フロン/自然冷媒への切替
- 使用燃料の転換 (石炭→LPG等)
- 電力の再エネ比率の向上 など

[TCFD提言への賛同・取り組み](#)





- ✓ 5つの取り組み項目と、KPIとして「研修参加人数」「管理職の女性比率」「係長級の女性比率」「有給休暇取得率」を設定。

取り組み項目	KPI	2021年度	目標
● 人材開発・育成	研修参加人数（年間）	13,389名	2023年度 14,000名
● ダイバーシティの尊重	管理職の女性比率 ※	6.1%	2030年度 10%
● ワークライフバランスの推進	係長級の女性比率 ※	10.9%	2030年度 20%
● 人権尊重	有給休暇取得率（1人当たり年間）	62.8%	2025年度 70%
● 労働安全衛生・健康管理			

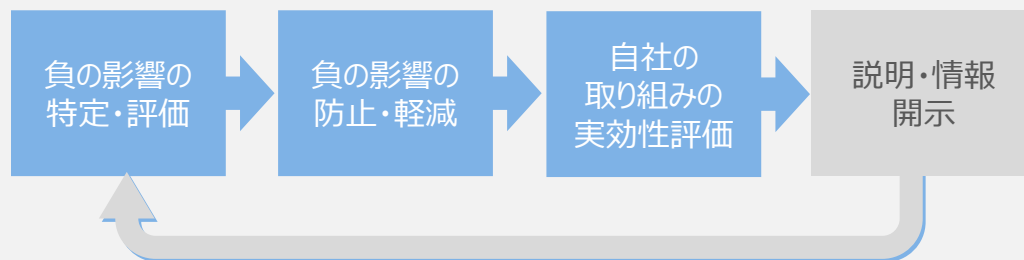
※主要国内グループ会社

トピックス1：サプライチェーン全体における人権尊重

人権デュー・ディリジェンス 取り組み推進

当社の人権方針に基づき人権デュー・ディリジェンスの仕組みを構築。
グループ及びサプライチェーンでの人権に対する負の影響を特定し、低減・防止に務める。

取り組み状況を2023年度上期に開示予定



[「人権」に関する取り組みについて](#)

トピックス2：ダイバーシティの尊重

「MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)」

性別多様性に優れた企業として、
2018年12月から構成銘柄に選定

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

※ 当社のMSCI指数への組み入れ、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数の名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による当社への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCIならびにMSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

02 持続可能な調達と安定供給の推進 KPI・トピックス

- ✓ 3つの取り組み項目と、KPIとして「動物の糞のリサイクル率」「ヘルスケア事業の売上高」「サプライヤー調査カバー率」「妊娠ストール（豚）の廃止」を設定。

取り組み項目	KPI	2021年度	目標
● 持続可能な畜産産業への貢献	動物の糞のリサイクル率	100%	100%を維持
	ヘルスケア事業の売上高	85百万豪ドル	2025年度 105百万豪ドル
● 人権を尊重した調達の推進	サプライヤー調査カバー率		2022年度より調達額80%を対象に毎年実施
● アニマルウェルフェアへの配慮	妊娠ストール（豚）の廃止		妊娠豚舎新築・改築の際、妊娠ストール方式を廃止し、群飼方式もしくはフリーストール方式の飼育方法とする

トピックス1：持続可能な畜産産業への貢献

ヘルスケア事業 2025年度売上高
105百万豪ドル

2021年度 実績 34百万豪ドル(※)

処理の過程で出る血液、心膜などの
副産物を有効活用



トピックス2：人権を尊重した調達の推進

**サプライヤー調査
毎年実施**

調達額80%以上対象

2022年度 実績 対象：155社
回収率：100%

調査の結果、追跡調査を必要とするレベル
のリスクは確認されなかった。

[「持続可能な調達」に関する取り組みについて](#)

トピックス3：アニマルウェルフェアへの配慮

アニマルウェルフェアに配慮した
十和田ミートプラント 建設中



※写真は、有明ビーフプラント 常時飲水設備

- ・ 暑熱環境から家畜を守るミスト噴射機や常時飲水設備を設置予定
- ・ 対EUの高い輸出基準をクリアした輸出施設認定への取り組み

(参考) マテリアリティとKPI 詳細

マテリアリティ	考え方	取り組み項目	KPI
	健やかで豊かな食生活の実現 当社は、安全・安心で価値ある商品・サービスの提供を最優先としています。さらに、健康志向や簡便志向、食品ロスの低減など、多様なライフスタイルや社会的ニーズに対応した商品・サービスを提供していきます。	■安全・安心な食品の提供 ■良質なたんぱく質の提供 ■多様なライフスタイルに対応した商品開発と健康価値の提供 ■食品ロス低減につながる商品の拡大	食品安全の第三者認証拠点数 2023年度 国内全生産施設(45施設)の取得完了(2022年度43施設)
	地球環境への配慮 当社は、当社事業が地球環境に密接に関連していることを認識し、資源の有効活用、温室効果ガス排出量の削減などの環境負荷の低減に努めるとともに、生物多様性にも配慮した取り組みを推進していきます。	■温室効果ガス排出量の削減 ■エネルギー・用水使用量の削減 ■廃棄物排出量の削減 ■生物多様性の保全 ■プラスチック使用量の削減	温室効果ガス排出量（CO2換算） 2030年度 2016年度比半減、2050年ネットゼロ(2016年度375,982t ⇒ 2021年度370,878t ⇒ 2030年度187,991t) エネルギー・用水使用量（原単位） 2021年度を基準年として毎年1%削減、3年で3%削減(エネルギー：2021年度9.8GJ/t、用水：2021年度17.6㎡/t) 廃棄物排出量（原単位） 2021年度を基準年とし毎年1%削減、3年で3%削減(2021年度101.2kg/t)
	従業員一人ひとりが活躍できる職場づくり 当社は、事業活動を支える従業員が安心して働くことができる職場環境を確保するとともに、多様な価値観と働き方を尊重します。従業員が企業とともに持続的な成長を目指していける風土を醸成していきます。	■人材開発・育成 ■ダイバーシティの尊重 ■ワークライフバランスの推進 ■人権尊重 ■労働安全衛生・健康管理	研修参加人数（年間） 2023年度14,000名(2021年度13,389名) 管理職の女性比率※主要国内グループ会社 2030年度 10%(2021年度6.1%) 係長級の女性比率※主要国内グループ会社 2030年度 20%(2021年度10.9%) 有給休暇取得率（1人当たり年間） 2025年度 70%(2021年度62.8%)
	持続可能な調達と安定供給の推進 当社は、畜産産業をはじめとした当社のすべてのビジネスパートナーと協調して人権尊重やアニマルウェルフェアなどの社会課題の解決を目指し、持続可能なサプライチェーンを構築していきます。	■持続可能な畜産産業への貢献 ■人権を尊重した調達の推進 ■アニマルウェルフェアへの配慮	動物の糞のリサイクル率 100%を維持 ヘルスケア事業の売上高 2025年度105百万豪ドル(2021年度85百万豪ドル) サプライヤー調査カバー率 2022年度より調達額80%を対象として毎年実施(2021年度より実施開始) 妊娠ストール（豚）の廃止 妊娠ストールを新築・改築する場合は、妊娠ストール方式を廃止し、群飼方式もしくはフリーストール方式の飼育方法とする
	地域社会への貢献 当社は、地域社会の一員として、また、良き企業市民として、地球環境への配慮や安全衛生、雇用の創出など「社会との共生」を重視した取り組みを推進していきます。		
	コーポレート・ガバナンスの強化 当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づき、最適なガバナンス体制を構築していきます。	■コンプライアンスの遵守・推進 ■リスクマネジメント	
	妥協しない美味さと高品質へのこだわり 当社は、これまで歩んできた歴史と技術の伝承を守りながら、すべてのお客様に喜んでいただける商品・サービスの提供を目指します。		

(参考) サステナビリティへの取り組み開示情報リンク集

サステナビリティ全般に関する開示情報

- 伊藤ハム米久ホールディングスのサステナビリティ <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/>
- マテリアリティ策定と目標 <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/materiality/tabid273.html>
- 中期経営計画 <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/ir/middleterm.html>
- 統合報告書 <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/ir/annual.html>

関連するマテリアリティ	開示情報	関連するマテリアリティ	開示情報
健やかで豊かな 食生活の実現 	●『めざせ1日80g！たんぱく ^と 摂ろう会』特設サイト https://tanpakutoroukai.jp/	地球環境への配慮 	●TCFD提言への賛同・取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/tcf.html ●地球環境配慮への取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/environment.html
従業員一人ひとりが 活躍できる職場づくり 	●働き方改革への取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/employee.html	持続可能な調達と 安定供給の推進 	●人権への取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/humanrights.html ●持続可能な調達への取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/sustainable_procurement.html ●アニマルウェルフェアへの取り組み https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/animalwelfare.html
地域社会への貢献 	●社会貢献活動 https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/policy.html	妥協しない美味しさと 高品質へのこだわり 	●伊藤ハムホームページ https://www.itoham.co.jp/ ●米久ホームページ https://www.yonekyu.co.jp/
コーポレート・ ガバナンスの強化 	●コーポレート・ガバナンス https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/governance.html		

01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

04 外部環境データ

03 決算補足データ：損益計算書

※億円未満は四捨五入

業績推移

	※科目組換え後		単位：億円
	21年度	22年度	
	3Q累計	3Q累計	増減
売上高	6,557	7,016	+459
売上原価	5,526	5,964	+438
売上総利益	1,031	1,052	+21
売上比 (%)	15.7	15.0	▲0.7
販売費及び一般管理費	799	812	+13
売上比 (%)	12.2	11.6	▲0.6
営業利益	231	239	+8
売上比 (%)	3.5	3.4	▲0.1
営業外損益	37	21	▲16
経常利益	268	260	▲8
売上比 (%)	4.1	3.7	▲0.4
特別損益	0	▲2	▲2
税金等調整前利益	268	258	▲10
当期純利益	186	178	▲8
売上比 (%)	2.8	2.5	▲0.3

※前年度公表数値

21年度
3Q累計
6,557
5,509
1,048
16.0
817
12.5
231
3.5
37
268
4.1
0
268
186
2.8

地域別売上高

	※科目組換え後		単位：億円
	21年度	22年度	
	3Q累計	3Q累計	増減
売上高	6,557	7,016	+459
日本	5,743	5,989	+247
海外計	814	1,027	+212
(海外比率%)	12.4	14.6	+2.2
アジア	297	325	+28
北米	225	299	+74
オセアニア	186	239	+53
欧州	91	137	+46
その他	15	26	+12

03 決算補足データ：販管費／営業外損益

※億円未満は四捨五入

販管費および一般管理費

※科目組換え後				単位：億円		※前年度公表数値	
	21年度	22年度				21年度	
	3Q累計	3Q累計	増減			3Q累計	
売上高	6,557	7,016	+459			6,557	
販管費計	799	812	+13			817	
売上比（％）	12.2	11.6	▲0.6			12.5	
人件費	265	268	+3			265	
物流費	341	343	+2			343	
広告宣伝費	36	36	▲0			36	
包装費	17	17	▲0			32	
減価償却費	13	12	▲1			13	
その他経費	127	137	+10			127	

営業外損益

	単位：億円		
	21年度	22年度	
	3Q累計	3Q累計	増減
営業外損益計	37	21	▲16
持分法損益	11	3	▲8
金融収支	2	▲1	▲3
助成金収入	13	10	▲3
その他	10	9	▲1

03 決算補足データ：貸借対照表

※億円未満は四捨五入

単位：億円

	21年度 期末	22年度 3Q末	増減		21年度 期末	22年度 3Q末	増減
流動資産	2,434	2,974	+540	負債合計	1,504	2,046	+542
現金及び預金	480	232	▲248	流動負債	1,265	1,795	+529
受取手形及び売掛金	890	1,342	+452	固定負債	238	251	+13
たな卸資産	956	1,249	+293	純資産合計	2,627	2,722	+94
その他	108	152	+43	株主資本	2,523	2,597	+74
固定資産	1,697	1,793	+96	資本金	300	300	-
有形固定資産	970	1,004	+34	資本剰余金	966	929	▲37
無形固定資産	221	266	+45	利益剰余金	1,298	1,408	+110
投資その他の資産	506	523	+17	自己株式	▲42	▲41	+1
資産合計	4,131	4,767	+636	その他包括利益	98	118	+21
				新株予約権	1	1	▲0
				非支配株主持分	6	6	▲0
				負債純資産合計	4,131	4,767	+636

	21年度 期末	22年度 3Q末	増減
有利子負債	351	609	+258
D/Eレシオ (%)	13.4	22.4	+9.0
自己資本	2,620	2,715	+95
自己資本比率 (%)	63.4	57.0	▲6.5

資産

受取手形・売掛金	(前期末増減)	: + 452 億円
たな卸資産		: + 293 億円

負債

支払手形・買掛金	(前期末増減)	: + 165 億円
短期借入金		: + 258 億円

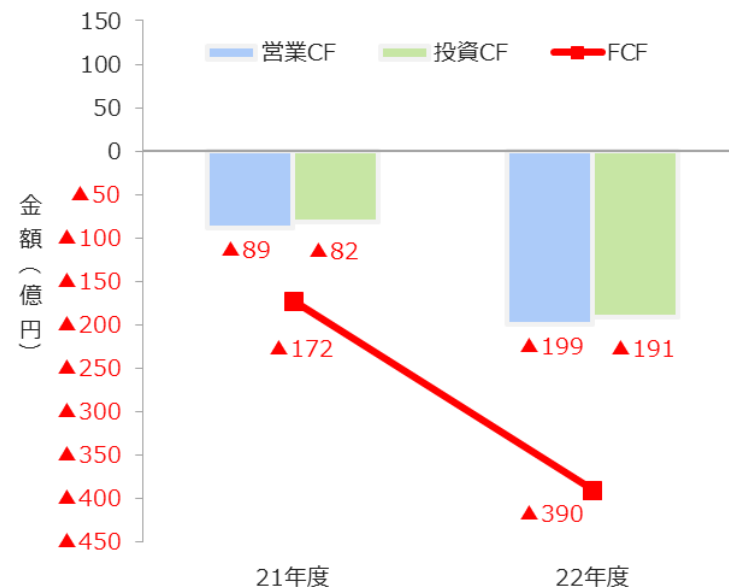
純資産

＜評価・換算差額等＞	(前期末増減)	
その他有価証券評価差額金	: + 2 億円	
為替換算調整勘定	: + 36 億円	

03 決算補足データ：キャッシュフロー計算書

※億円未満は四捨五入

	単位：億円		
	21年度	22年度	
	3Q累計	3Q累計	増減
①営業活動によるキャッシュ・フロー	▲89	▲199	▲109
税金等調整前純利益	268	258	▲10
減価償却費	84	88	+5
売上債権の増減額	▲391	▲442	▲51
たな卸資産の増減額	▲100	▲243	▲143
仕入債務の増減額	144	159	+15
その他	▲93	▲19	+75
②投資活動によるキャッシュ・フロー	▲82	▲191	▲109
③財務活動によるキャッシュ・フロー	▲139	132	+271
④現金及び現金同等物の期末残高	199	229	+30
①+② F C F	▲172	▲390	▲218



減価償却費

22年度3Q累計 87 億円 (83 億円)
22年度通期見込 120 億円 (113 億円)

設備投資

22年度3Q累計 120 億円 (76 億円)
22年度通期見込 220 億円 (117 億円)

※括弧内は前年実績

03 決算補足データ：商品分類別実績

※億円未満は四捨五入

商品分類別 売上高

単位：億円

	連結計			加工食品セグメント			食肉セグメント			その他		
	21年度	22年度		21年度	22年度		21年度	22年度		21年度	22年度	
	3Q累計	3Q累計	増減	3Q累計	3Q累計	増減	3Q累計	3Q累計	増減	3Q累計	3Q累計	増減
売上高	6,557	7,016	+459	2,795	2,860	+65	3,730	4,123	+393	32	34	+1
ハム・ソーセージ	1,360	1,413	+53	1,263	1,309	+46	97	105	+8	-	-	-
プロパー	1,233	1,293	+60	1,136	1,189	+53	97	105	+8	-	-	-
ギフト	127	120	▲7	127	120	▲7	0	0	-	-	-	-
調理加工食品	1,141	1,155	+13	1,005	1,000	▲4	137	154	+18	-	-	-
食肉	3,901	4,268	+367	527	550	+23	3,374	3,717	+343	-	-	-
牛肉	1,860	2,008	+148	242	250	+8	1,618	1,758	+140	-	-	-
豚肉	1,221	1,298	+76	170	170	▲0	1,051	1,128	+77	-	-	-
鶏肉	543	606	+63	114	129	+15	430	478	+48	-	-	-
羊肉・他	276	355	+79	1	2	+1	275	353	+78	-	-	-
その他	155	180	+26	0	0	+0	122	147	+24	32	34	+1

商品分類別 伸長率

単位：%

	連結計		アonzコ除く	
	3Q累計		3Q累計	
	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	▲1.0	+3.9	▲1.0	+3.6
調理加工食品	▲2.5	+1.2	▲3.3	▲0.8
食肉	▲4.9	+9.4	▲4.8	+6.3
牛肉	▲6.7	+8.0	▲4.4	+4.7
豚肉	▲1.3	+6.2	▲1.3	+6.2
鶏肉	▲9.5	+11.6	▲9.5	+11.6
その他	+3.7	+28.7	▲20.1	▲5.8

主要ブランド 伸長率

単位：%

	1Q	2Q	3Q	3Q累計
THE GRAND アルトバイエルン	▲3.0	▲6.1	+1.0	▲2.6
朝のフレッシュシリーズ	+9.0	+10.2	+15.0	+11.2
ポークビッツ/チーズイン	+10.0	+11.4	+11.6	+11.0
ラ・ピッツァ/ピザガーデン	▲8.3	▲9.1	+13.5	▲1.3
原形ベーコンシリーズ	▲1.3	▲0.4	+2.6	+0.4
王様のローストビーフ	+44.0	+36.6	+21.5	+32.0

※金額ベース

03 決算補足データ：セグメント別四半期業績推移

※億円未満は四捨五入

単位：億円

		1Q (4-6月)			2Q (7-9月)			3Q (10-12月)			4Q (1-3月)		
		当期 実績	前期 実績	前期 差	当期 実績	前期 実績	前期 差	当期 実績	前期 実績	前期 差	当期 予想	前期 実績	前期 差
加工食品事業	売上高	878	853	+25	920	905	+15	1,062	1,037	+25	840	818	+22
	営業利益	27	39	▲11	16	30	▲14	35	47	▲13	▲23	4	▲27
	営業利益率(%)	3.1	4.6	▲1.4	1.8	3.4	▲1.6	3.3	4.6	▲1.3	▲2.8	0.5	▲3.3
	経常利益	28	40	▲11	17	32	▲14	37	48	▲11	▲23	5	▲28
	経常利益率(%)	3.2	4.7	▲1.4	1.9	3.5	▲1.6	3.5	4.6	▲1.2	▲2.7	0.6	▲3.3
食肉事業	売上高	1,234	1,162	+72	1,426	1,237	+189	1,463	1,331	+131	1,137	1,159	▲21
	営業利益	49	41	+8	67	41	+26	56	41	+15	11	16	▲5
	営業利益率(%)	4.0	3.5	+0.4	4.7	3.3	+1.4	3.8	3.0	+0.8	1.0	1.4	▲0.4
	経常利益	53	47	+5	70	51	+19	63	55	+8	13	23	▲10
	経常利益率(%)	4.3	4.1	+0.2	4.9	4.2	+0.8	4.3	4.1	+0.2	1.1	2.0	▲0.9
その他・調整	売上高	11	11	+1	11	10	+0	12	11	+0	6	10	▲4
	営業利益	▲5	▲4	▲1	▲3	▲2	▲1	▲3	▲1	▲1	▲7	▲5	▲2
	経常利益	▲4	▲3	▲1	▲3	▲2	▲1	▲1	▲0	▲1	▲10	▲10	▲0
HD連結	売上高	2,123	2,026	+97	2,357	2,152	+205	2,536	2,379	+156	1,984	1,987	▲3
	営業利益	71	76	▲4	80	69	+11	88	87	+1	▲19	15	▲34
	営業利益率(%)	3.4	3.7	▲0.4	3.4	3.2	+0.2	3.5	3.6	▲0.2	▲1.0	0.7	▲1.7
	経常利益	77	84	▲7	85	81	+3	99	103	▲4	▲20	18	▲38
	経常利益率(%)	3.6	4.2	▲0.5	3.6	3.8	▲0.2	3.9	4.3	▲0.4	▲1.0	0.9	▲1.9

03 決算補足データ：通期業績予想 詳細

※億円未満は四捨五入

単位：億円

		上期					下期					通期				
		当期実績	前期実績	前期差	前回予想	前回予想差	当期予想	前期実績	前期差	前回予想	前回予想差	当期予想	前期実績	前期差	前回予想	前回予想差
		(11/8開示)			(11/8開示)		(2/3開示)			(11/8開示)		(2/3開示)			(11/8開示)	
加工食品事業	売上高	1,798	1,758	+40	1,798	-	1,902	1,855	+47	1,902	-	3,700	3,613	+87	3,700	-
	営業利益	44	69	▲26	44	-	11	52	▲40	27	▲16	55	121	▲66	71	▲16
	営業利益率(%)	2.4	3.9	▲1.5	2.4	+0.0	0.6	2.8	▲2.2	1.4	▲0.8	1.5	3.3	▲1.9	1.9	▲0.4
	経常利益	46	72	▲26	46	-	14	53	▲39	29	▲15	60	125	▲65	75	▲15
	経常利益率(%)	2.5	4.1	▲1.5	2.5	+0.0	0.7	2.9	▲2.1	1.5	▲0.8	1.6	3.5	▲1.8	2.0	▲0.4
食肉事業	売上高	2,660	2,399	+261	2,660	-	2,600	2,490	+110	2,550	+50	5,260	4,889	+371	5,210	+50
	営業利益	116	82	+34	116	-	67	57	+10	49	+18	183	138	+45	165	+18
	営業利益率(%)	4.4	3.4	+1.0	4.4	+0.0	2.6	2.3	+0.3	1.9	+0.7	3.5	2.8	+0.7	3.2	+0.3
	経常利益	123	99	+24	123	-	76	78	▲2	70	+6	198	176	+22	192	+6
	経常利益率(%)	4.6	4.1	+0.5	4.6	+0.0	2.9	3.1	▲0.2	2.7	+0.2	3.8	3.6	+0.2	3.7	+0.1
その他・調整	売上高	22	21	+1	22	-	18	21	▲3	18	-	40	42	▲2	40	-
	営業利益	▲8	▲6	▲2	▲8	-	▲10	▲7	▲3	▲18	+8	▲18	▲13	▲5	▲26	+8
	経常利益	▲7	▲5	▲2	▲7	-	▲11	▲11	▲1	▲20	+9	▲18	▲15	▲3	▲27	+9
HD連結	売上高	4,480	4,178	+302	4,480	-	4,520	4,366	+154	4,470	+50	9,000	8,544	+456	8,950	+50
	営業利益	151	145	+7	151	-	69	101	▲33	59	+10	220	246	▲26	210	+10
	営業利益率(%)	3.4	3.5	▲0.1	3.4	+0.0	1.5	2.3	▲0.8	1.3	+0.2	2.4	2.9	▲0.4	2.3	+0.1
	経常利益	162	165	▲4	162	-	78	121	▲42	78	-	240	286	▲46	240	-
	経常利益率(%)	3.6	4.0	▲0.4	3.6	+0.0	1.7	2.8	▲1.0	1.8	▲0.0	2.7	3.3	▲0.7	2.7	▲0.0

03 決算補足データ：通期業績予想 増減要因推移

※億円未満は四捨五入

単位：億円

加工食品事業	上期			下期				通期			
	5/9見込	8/3見込	実績	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込
前年経常利益	+72	+72	+72	+53	+53	+53	+53	+125	+125	+125	+125
数量要因	▲4	▲6	▲4	▲4	▲9	▲5	▲2	▲8	▲15	▲8	▲6
単価要因	+25	+34	+35	+30	+67	+70	+74	+55	+100	+104	+108
原材料・光熱費影響	▲49	▲59	▲54	▲31	▲66	▲86	▲106	▲80	▲125	▲140	▲160
物流単価影響	▲2	▲2	▲3	▲1	▲2	▲3	▲5	▲3	▲4	▲6	▲8
その他	-	-	-	-	-	-	▲1	-	-	-	-
営業外損益	▲1	-	-	-	-	-	+1	-	-	-	+1
当年経常利益	+41	+38	+46	+48	+43	+29	+14	+89	+81	+75	+60

食肉事業	上期			下期				通期			
	5/9見込	8/3見込	実績	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込
前年経常利益	+99	+99	+99	+78	+78	+78	+78	+176	+176	+176	+176
数量要因	▲1	▲8	▲5	+1	-	▲5	-	-	▲8	▲10	▲5
単価要因	▲3	▲1	▲1	+4	+3	▲12	▲10	+1	+2	▲13	▲11
相場・飼料影響（生産事業）	▲6	▲7	▲3	▲6	▲11	▲2	+2	▲12	▲18	▲5	▲1
物流単価影響	▲1	▲2	▲2	▲1	▲2	▲3	▲2	▲2	▲4	▲5	▲4
海外事業要因	+15	+45	+46	-	▲5	+14	+21	+15	+40	+60	+67
その他	-	▲1	▲1	▲1	▲1	-	▲1	▲1	▲1	-	▲1
営業外損益	▲5	▲5	▲11	▲9	▲9	▲1	▲13	▲14	▲14	▲11	▲23
当年経常利益	+98	+120	+123	+66	+53	+70	+76	+164	+173	+192	+198

その他・調整	上期			下期				通期			
	5/9見込	8/3見込	実績	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込	5/9見込	8/3見込	11/8見込	2/3見込
前年経常利益	▲5	▲5	▲5	▲11	▲11	▲11	▲11	▲15	▲15	▲15	▲15
その他	▲5	▲3	▲2	+6	-	▲11	▲3	-	▲3	▲13	▲5
営業外損益	+1	-	-	+1	+5	+1	+2	+2	+4	+1	+2
当年経常利益	▲9	▲8	▲7	▲4	▲6	▲20	▲11	▲13	▲14	▲27	▲18

01 決算ハイライト

- ・ 全社 実績/予想
- ・ 加工食品 実績/予想
- ・ 食肉 実績/予想

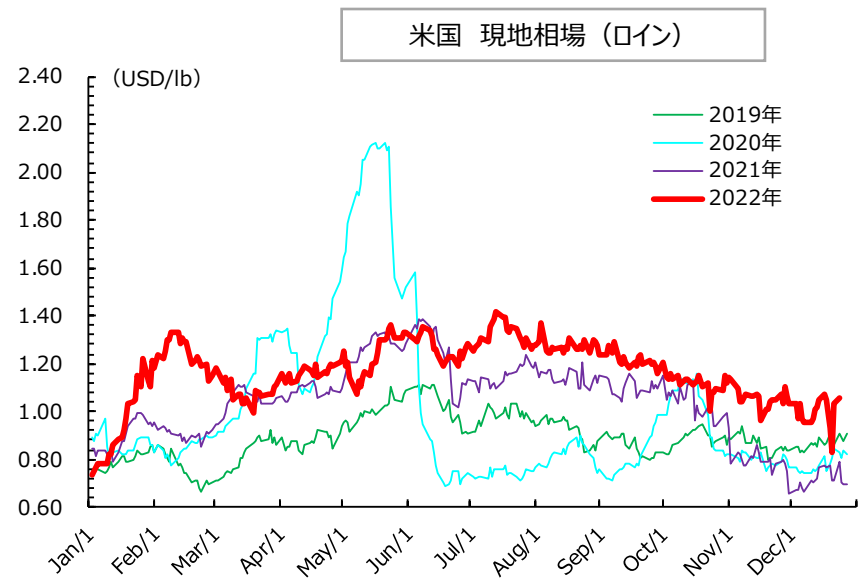
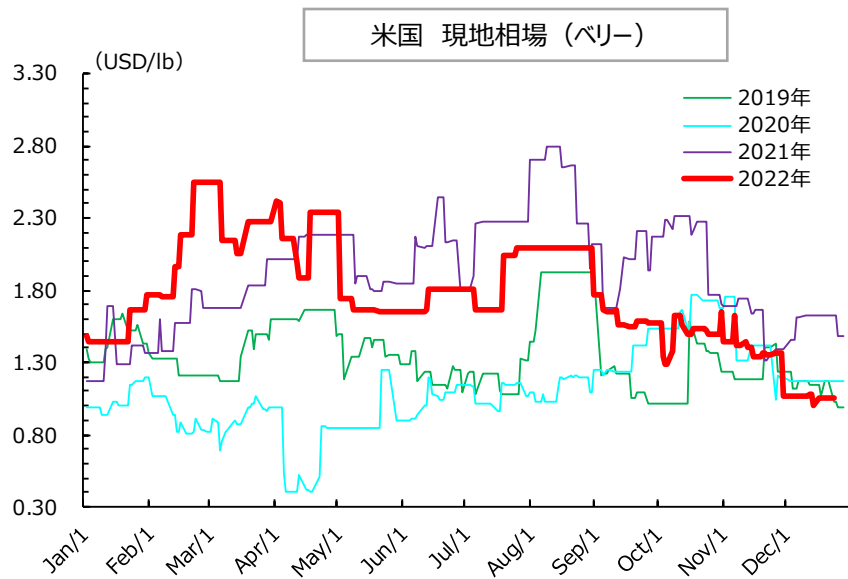
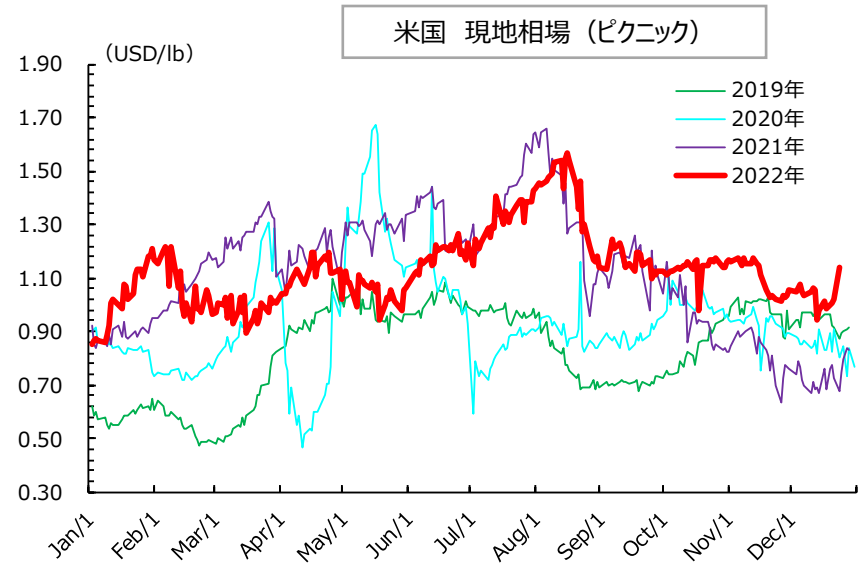
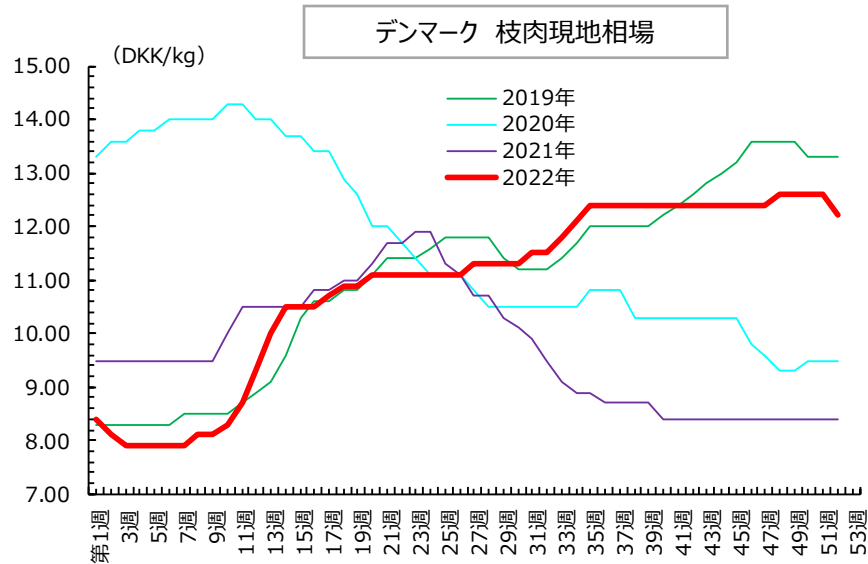
02 中計進捗

- ・ サステナビリティへの取り組み

03 決算補足データ

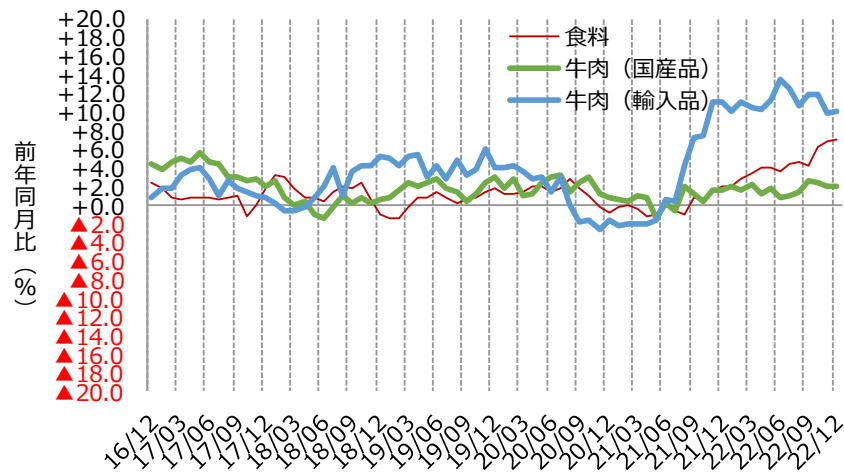
04 外部環境データ

04 外部環境データ：海外原料相場

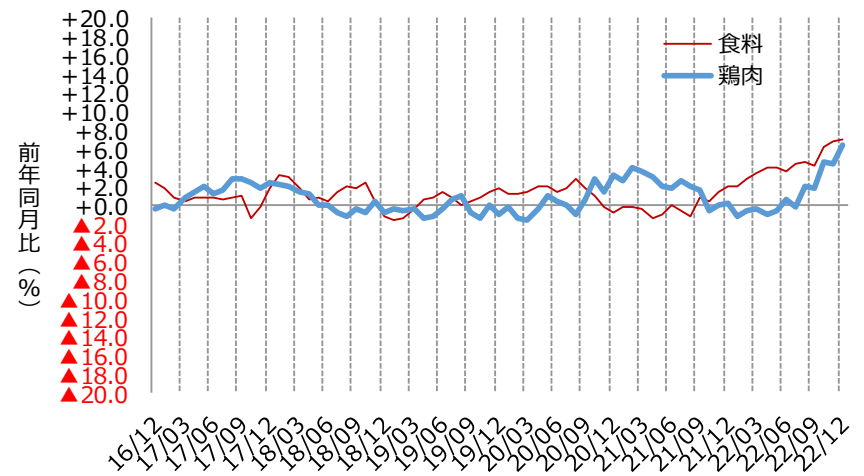


04 外部環境データ：消費者物価指数（CPI）

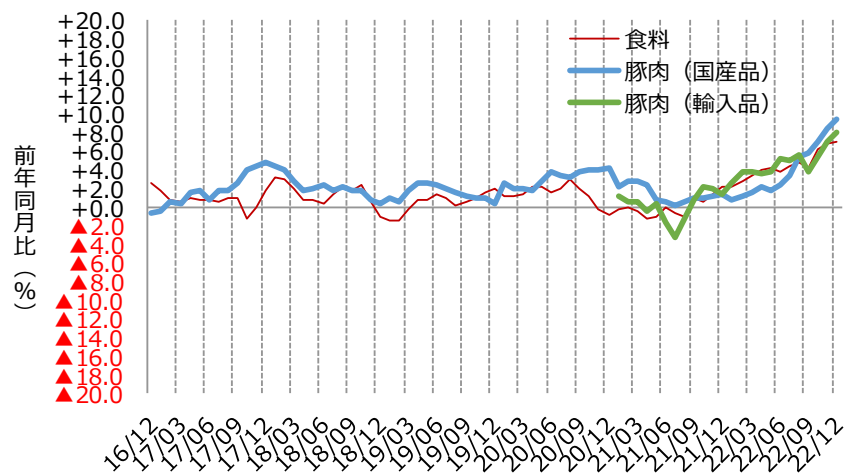
牛肉



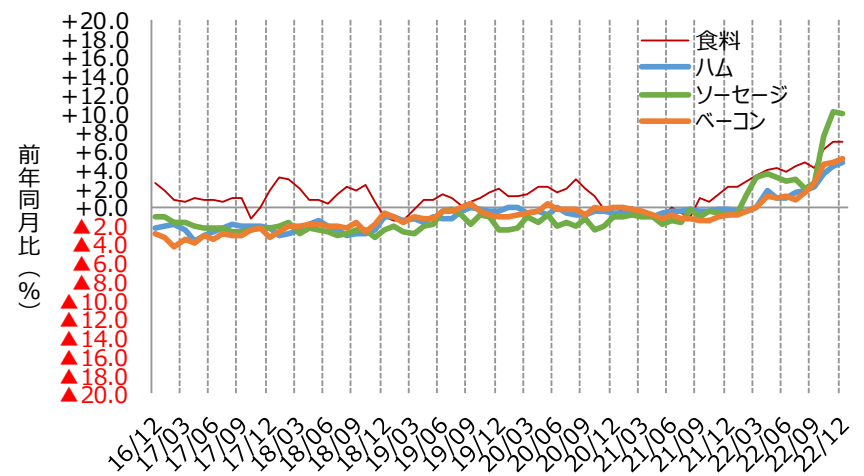
鶏肉



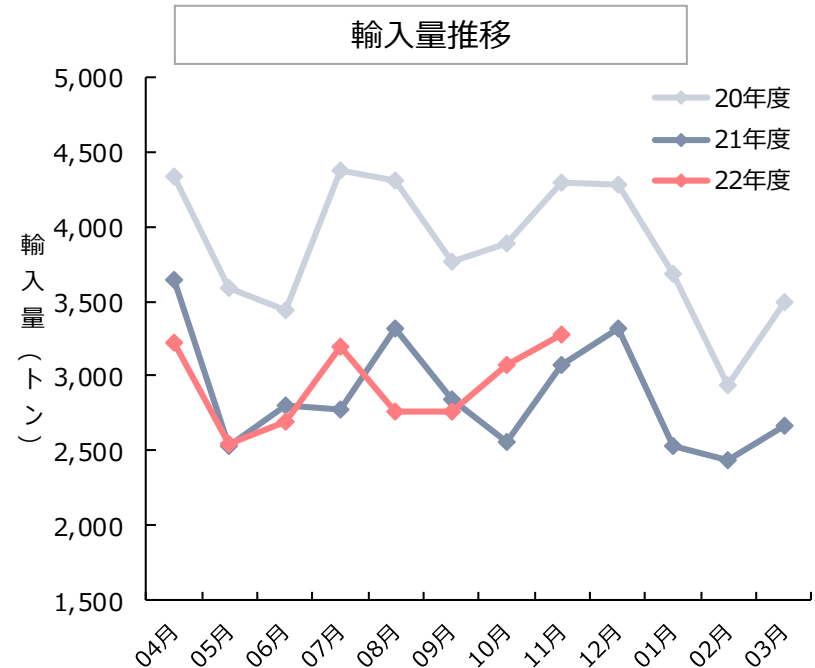
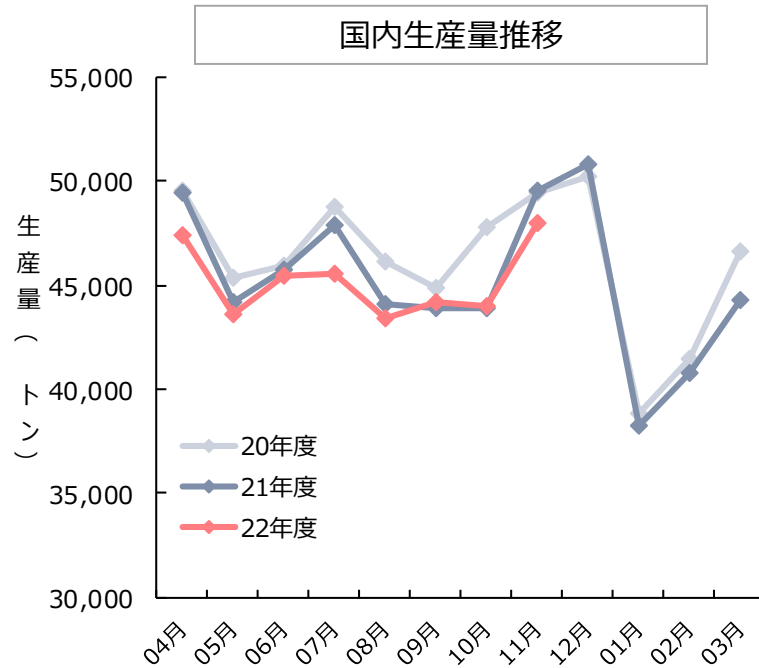
豚肉



加工肉



04 外部環境データ：ハム・ソーセージ 国内生産量・輸入量



			単位：トン												
			04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	累計
生産量	21年度	重量	49,471	44,243	45,738	47,947	44,061	43,892	43,950	49,564	50,798	38,269	40,750	44,348	547,171
		(増減率)	-1.1%	-2.4%	-3.9%	-0.1%	-0.7%	1.5%	-5.9%	5.5%	0.3%	-1.0%	3.0%	-3.7%	-0.8%
	22年度	重量	47,459	43,605	45,445	45,577	43,462	44,172	43,975	48,040					361,735
		(増減率)	-4.1%	-1.4%	-0.6%	-4.9%	-1.4%	0.6%	0.1%	-3.1%					-33.4%
輸入量	21年度	重量	3,649	2,531	2,797	2,778	3,315	2,850	2,560	3,077	3,316	2,532	2,437	2,661	33,949
		(増減率)	-20.8%	-17.0%	-13.9%	-7.5%	31.1%	3.6%	-7.2%	14.9%	24.5%	36.9%	5.6%	6.4%	1.6%
	22年度	重量	3,226	2,540	2,696	3,190	2,759	2,756	3,073	3,275					23,517
		(増減率)	-11.6%	0.4%	-3.6%	14.8%	-16.8%	-3.3%	20.1%	6.5%					-31.8%
合計	21年度	重量	53,120	46,775	48,535	50,726	47,376	46,742	46,510	52,640	54,115	40,800	43,187	47,009	581,120
		(増減率)	-2.8%	-3.3%	-4.6%	-0.5%	1.0%	1.6%	-6.0%	6.0%	1.5%	0.7%	3.2%	-3.2%	-0.6%
	22年度	重量	50,685	46,146	48,142	48,767	46,220	46,929	47,048	51,315	0	0	0	0	385,251
		(増減率)	-4.6%	-1.3%	-0.8%	-3.9%	-2.4%	0.4%	1.2%	-2.5%					-33.3%

4～11月期間計

【生産量】

21年度 **368,865 トン**

22年度 **361,735 トン**

前年より **1.9%減**

【輸入量】

21年度 **23,558 トン**

22年度 **23,517 トン**

前年より **0.2%減**

【合計】

21年度 **392,423 トン**

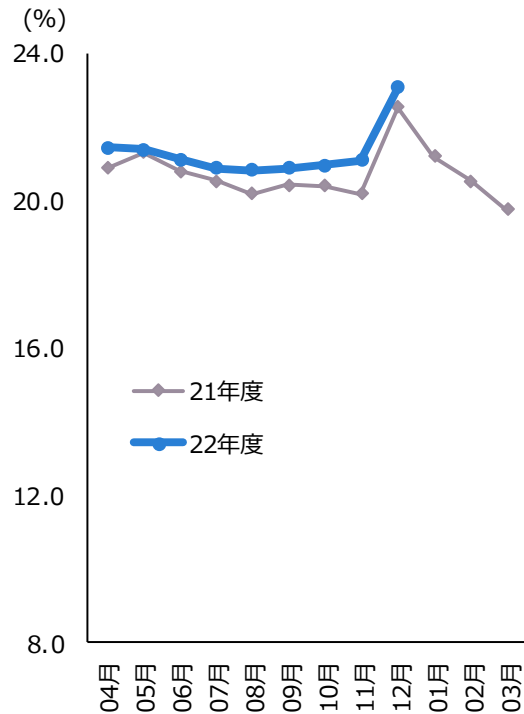
22年度 **385,251 トン**

前年より **1.8%減**

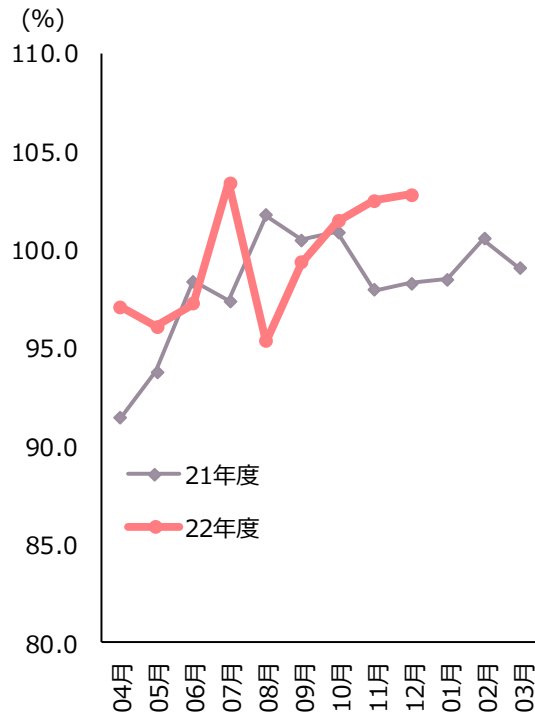
資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合「食肉加工品生産数量」

04 外部環境データ：ハム・ソーセージ シェア（HSトータル）

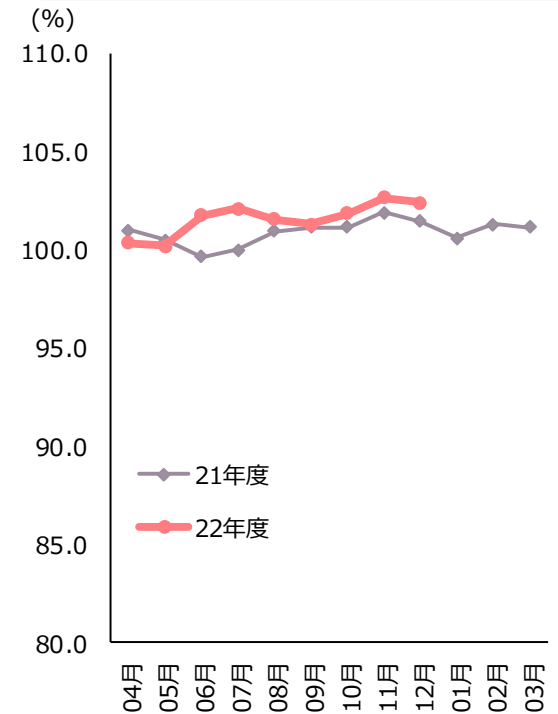
【自社】シェア



【市場】100人あたり購入金額前年比



【市場】平均単価前年比



	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	20.9	21.3	20.8	20.5	20.2	20.4	20.4	20.2	22.5	21.2	20.5	19.8	20.9
22年度	21.4	21.4	21.1	20.9	20.8	20.9	20.9	21.1	23.1				21.4
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	91.4	93.8	98.4	97.3	101.7	100.5	100.9	97.9	98.2	98.5	100.5	99.0	98.6
22年度	97.1	96.1	97.2	103.4	95.3	99.3	101.4	102.5	102.8				99.0
【単価前年比】													
21年度	101.0	100.5	99.6	100.0	100.9	101.1	101.1	101.9	101.4	100.6	101.3	101.1	100.7
22年度	100.3	100.2	101.7	102.1	101.5	101.3	101.8	102.6	102.4				101.6

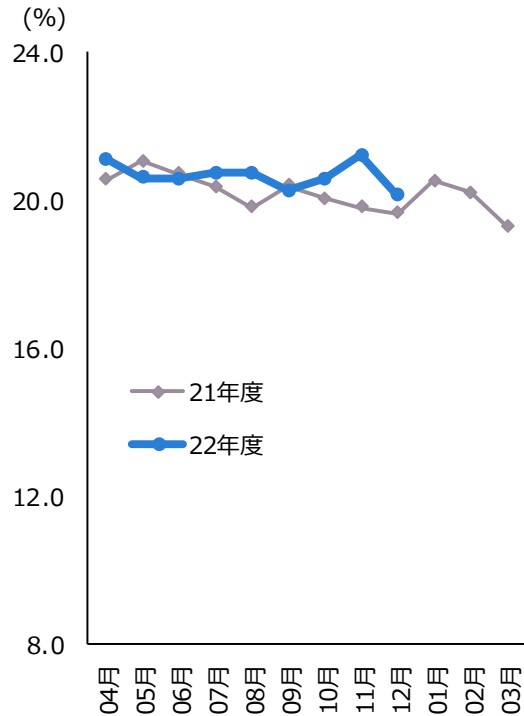
【自社シェア】

4月～12月期間計
前年 **20.9%**
今年 **21.4%**
前年より **0.5%増**

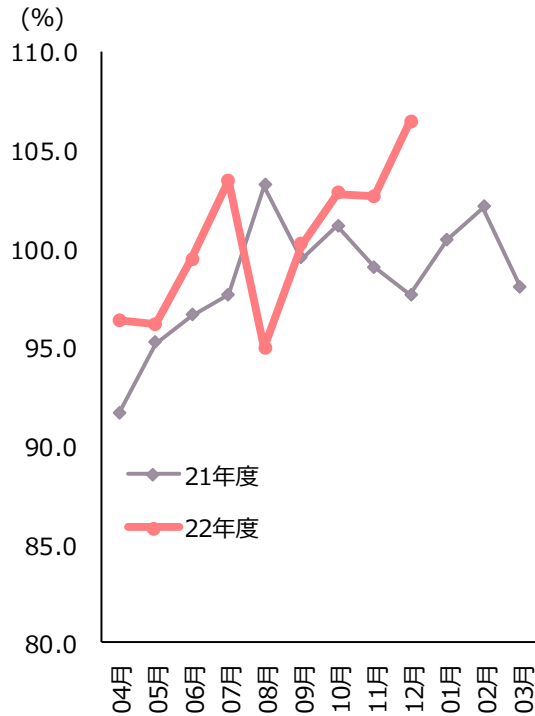
※QPR™調べ

04 外部環境データ：ハム・ソーセージ シェア（ウイナー）

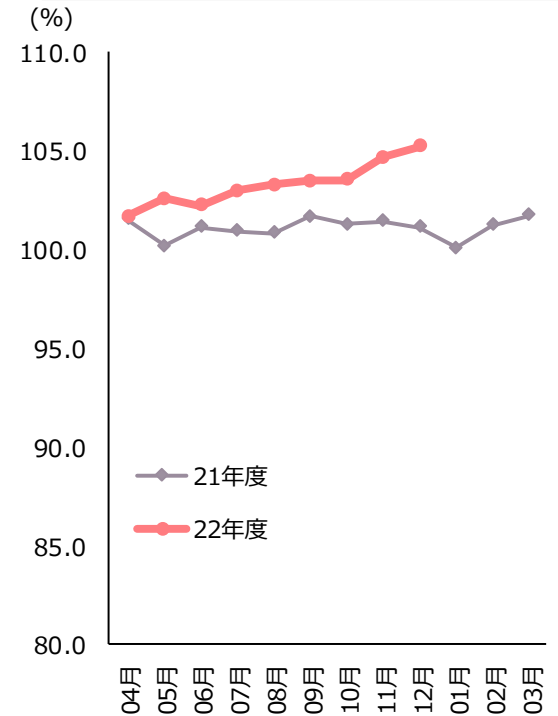
【自社】シェア



【市場】100人あたり購入金額前年比



【市場】平均単価前年比



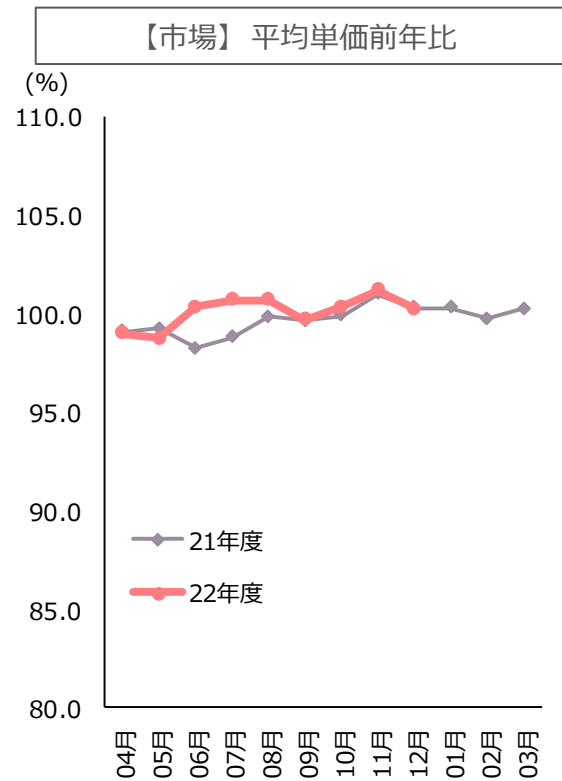
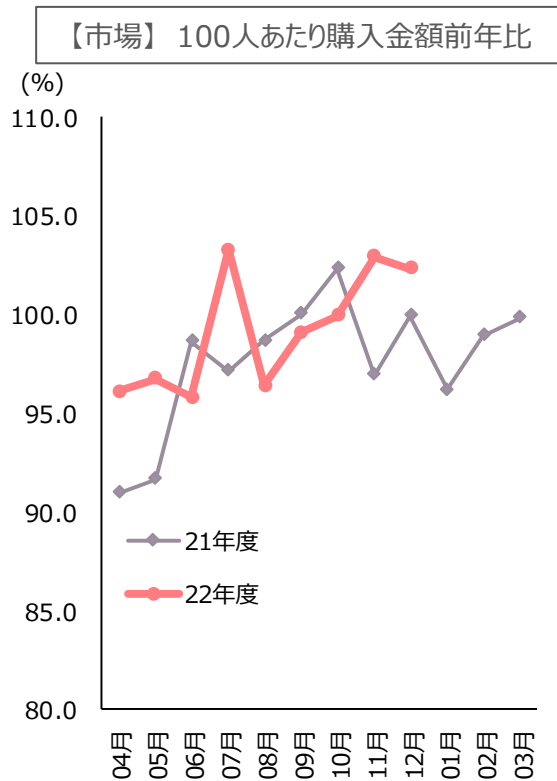
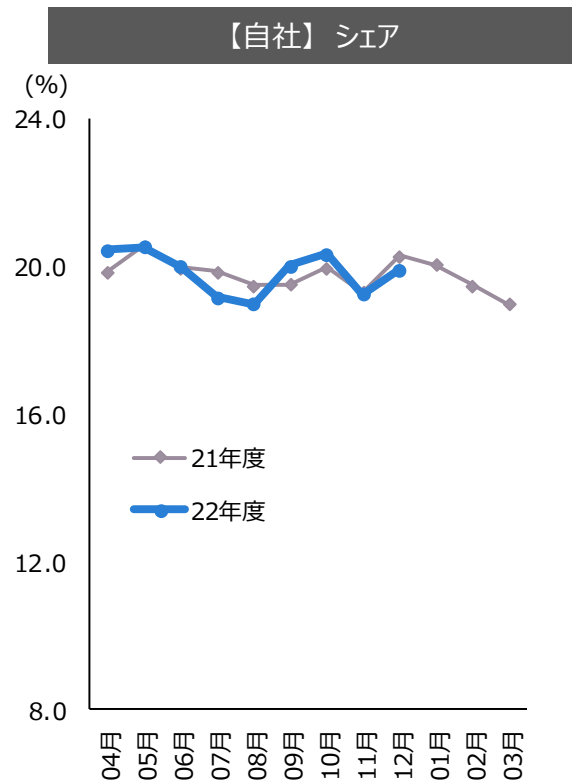
	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	20.6	21.0	20.7	20.4	19.8	20.4	20.0	19.8	19.6	20.5	20.2	19.3	20.3
22年度	21.1	20.6	20.6	20.7	20.7	20.3	20.6	21.2	20.1				20.6
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	91.6	95.2	96.6	97.6	103.2	99.5	101.1	99.1	97.7	100.4	102.1	98.1	99.1
22年度	96.4	96.1	99.4	103.4	95.0	100.2	102.8	102.7	106.5				99.7
【単価前年比】													
21年度	101.5	100.2	101.1	101.0	100.8	101.7	101.3	101.4	101.1	100.1	101.2	101.7	101.2
22年度	101.7	102.6	102.2	103.0	103.3	103.5	103.5	104.7	105.2				103.1

【自社シェア】

4月～12月期間計
前年 **20.4%**
今年 **20.6%**
前年より **0.2%増**

※QPR™調べ

04 外部環境データ：ハム・ソーセージ シェア（スライスパック）



	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	19.9	20.6	20.0	19.9	19.5	19.5	20.0	19.3	20.3	20.0	19.5	19.0	19.9
22年度	20.5	20.5	20.0	19.2	19.0	20.0	20.3	19.2	19.9				19.9
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	90.9	91.7	98.6	97.1	98.7	100.0	102.3	96.9	99.9	96.2	98.9	99.8	98.0
22年度	96.1	96.7	95.8	103.3	96.4	99.1	99.9	102.9	102.3				98.5
【単価前年比】													
21年度	99.1	99.3	98.3	98.8	99.9	99.6	99.9	101.0	100.3	100.3	99.8	100.2	99.4
22年度	99.0	98.8	100.3	100.7	100.7	99.7	100.3	101.2	100.2				100.1

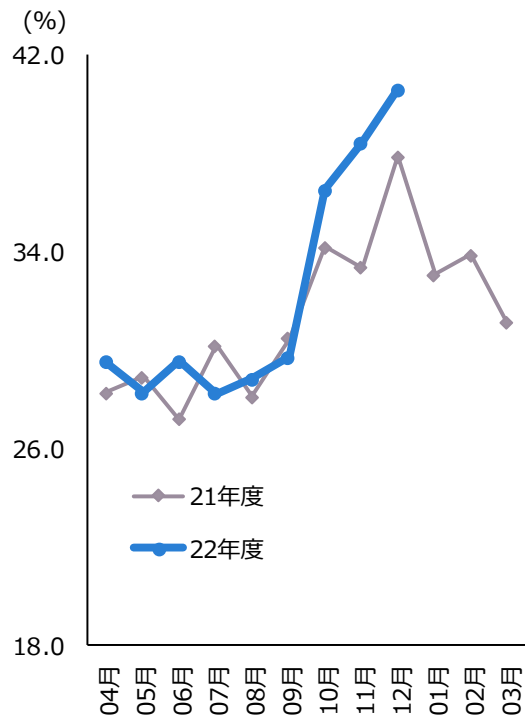
【自社シェア】

4月～12月期間計
 前年 **19.9%**
 今年 **19.9%**
 前年より **±0.0%**

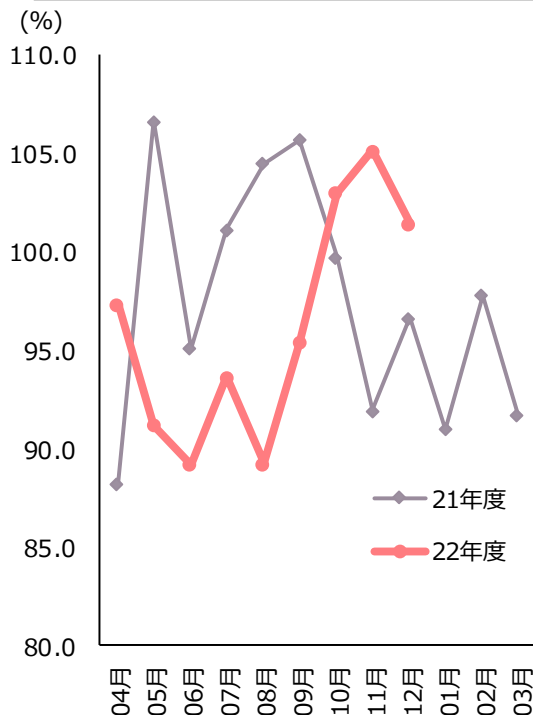
※QPR™調べ

04 外部環境データ：調理加工食品 シェア（ピザ）

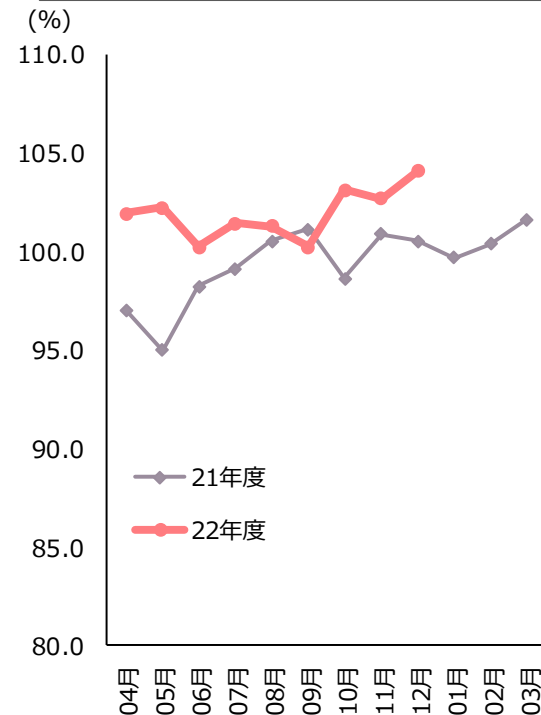
【自社】シェア



【市場】100人あたり購入金額前年比



【市場】平均単価前年比



	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	28.2	28.9	27.2	30.2	28.1	30.4	34.2	33.3	37.8	33.0	33.9	31.1	31.6
22年度	29.5	28.2	29.5	28.2	28.8	29.7	36.5	38.4	40.6				32.6
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	88.2	106.6	95.1	101.1	104.5	105.7	99.7	92.0	96.6	91.0	97.8	91.7	97.8
22年度	97.3	91.2	89.2	93.7	89.3	95.4	103.0	105.1	101.4				95.9
【単価前年比】													
21年度	97.0	95.0	98.2	99.1	100.5	101.1	98.6	100.9	100.5	99.6	100.4	101.6	99.2
22年度	101.9	102.2	100.2	101.4	101.2	100.2	103.1	102.7	104.1				102.1

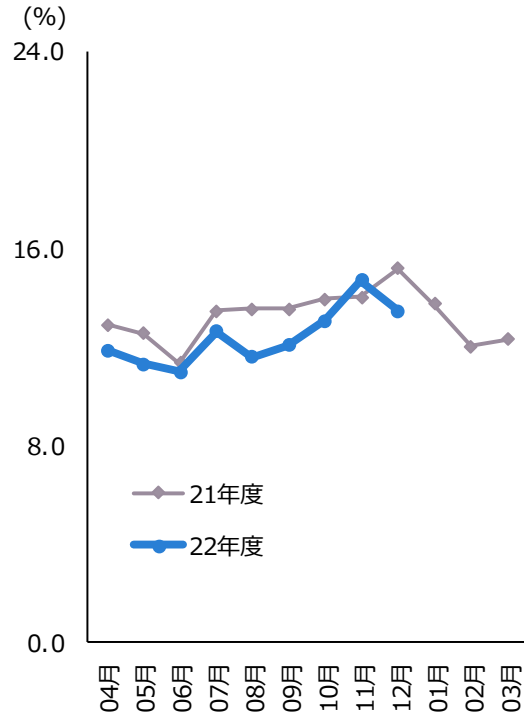
【自社シェア】

4月～12月期間計
前年 **31.1%**
今年 **32.6%**
前年より **1.5%増**

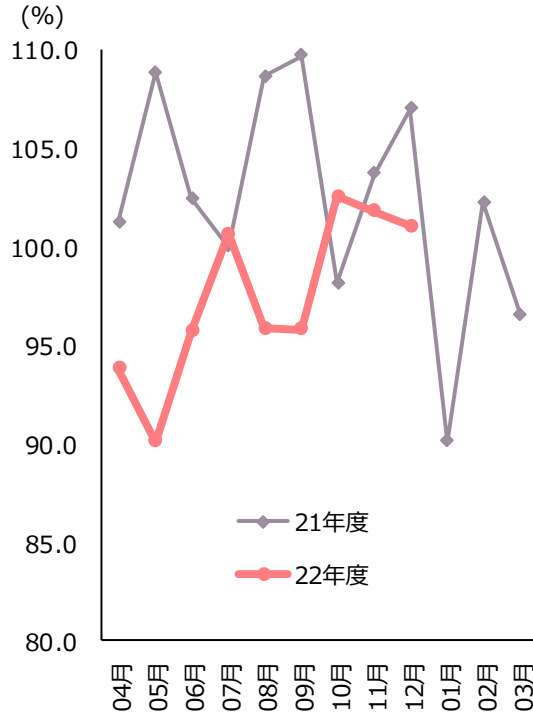
※QPR™調べ

04 外部環境データ：調理加工食品 シェア（HB・MB）

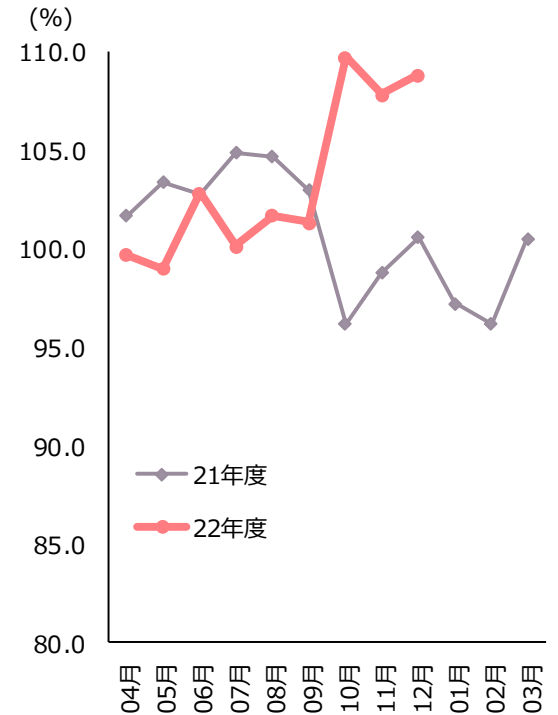
【自社】シェア



【市場】100人あたり購入金額前年比



【市場】平均単価前年比



	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	12.9	12.5	11.3	13.4	13.5	13.5	13.9	14.0	15.2	13.7	12.0	12.3	13.1
22年度	11.8	11.3	11.0	12.6	11.6	12.1	13.0	14.7	13.4				12.5
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	101.3	108.8	102.5	100.0	108.7	109.7	98.2	103.7	107.0	90.1	102.3	96.6	102.2
22年度	93.8	90.1	95.7	100.6	95.9	95.8	102.5	101.8	101.1				96.8
【単価前年比】													
21年度	101.7	103.4	102.8	104.9	104.7	103.0	96.2	98.8	100.6	97.3	96.2	100.5	100.6
22年度	99.7	99.0	102.8	100.2	101.7	101.3	109.7	107.9	108.8				103.5

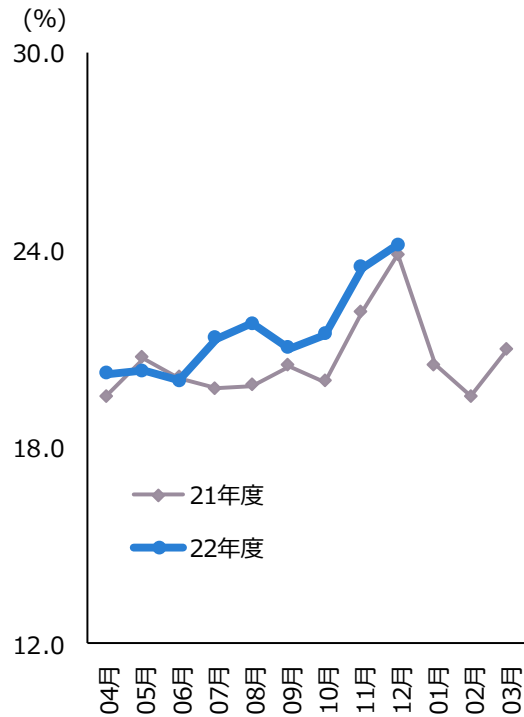
【自社シェア】

4月～12月期間計
前年 **13.4%**
今年 **12.5%**
前年より **0.9%減**

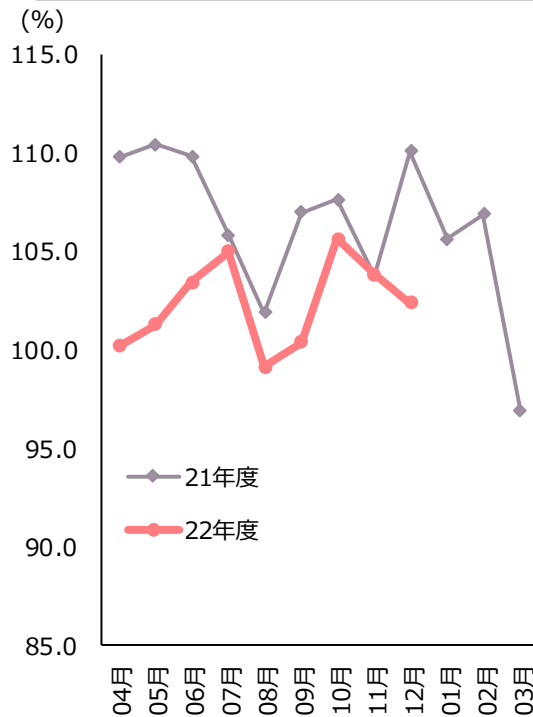
※QPR™調べ

04 外部環境データ：調理加工食品 シェア（チキン加熱）

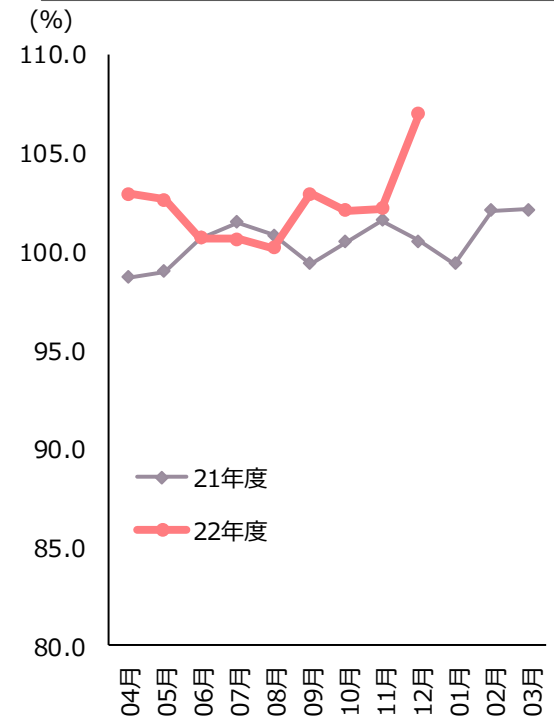
【自社】シェア



【市場】100人あたり購入金額前年比



【市場】平均単価前年比



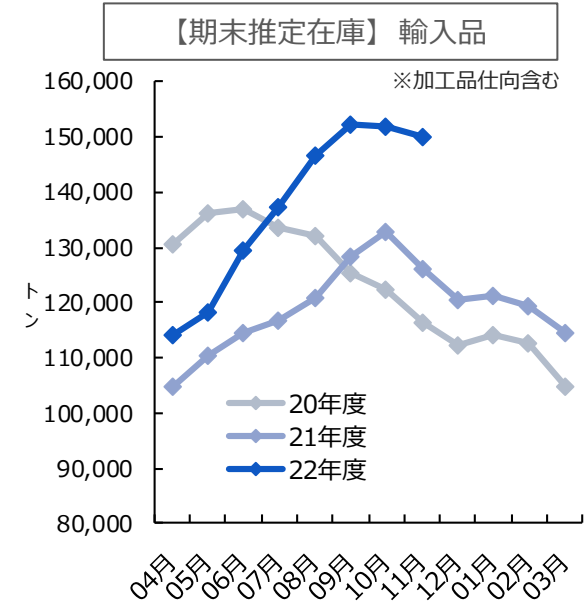
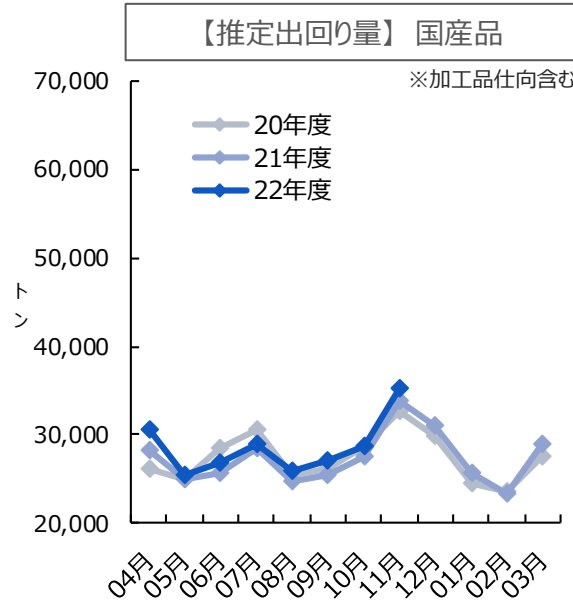
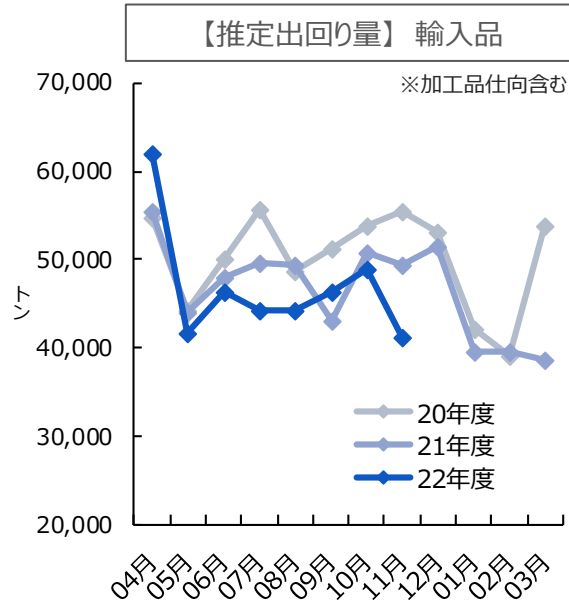
	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	期間計
【自社シェア】													
21年度	19.5	20.7	20.1	19.8	19.9	20.5	20.0	22.1	23.8	20.5	19.5	21.0	20.8
22年度	20.2	20.3	20.0	21.3	21.8	21.0	21.4	23.5	24.2				21.8
【100人あたり購入金額前年比】													
21年度	109.8	110.4	109.8	105.8	101.8	107.0	107.6	103.7	110.0	105.6	106.8	96.9	105.8
22年度	100.1	101.3	103.4	104.9	99.1	100.3	105.6	103.8	102.3				102.4
【単価前年比】													
21年度	98.7	99.0	100.7	101.4	100.8	99.4	100.5	101.5	100.5	99.4	102.1	102.1	100.9
22年度	102.9	102.6	100.7	100.6	100.1	102.9	102.1	102.1	106.9				102.0

【自社シェア】

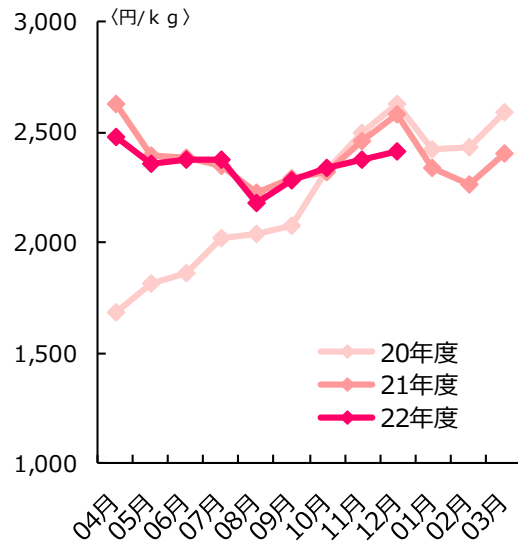
4月～12月期間計
前年 **20.6%**
今年 **21.8%**
前年より **1.2%増**

※QPR™調べ

04 外部環境データ：食肉 推定出回り量・国産相場（牛肉）



【国産相場】和牛去勢A4 東京市場 税込み



【推定出回り量】（4月～11月期間計） ※加工品仕向含む

合計 ▲ 0.8%
 輸入品 ▲ 3.9 %
 国産品 + 4.6%

【11月推定期末在庫】（前年比）

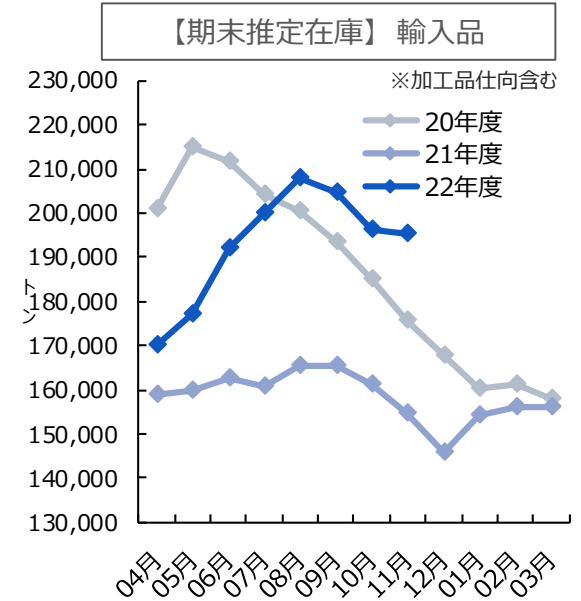
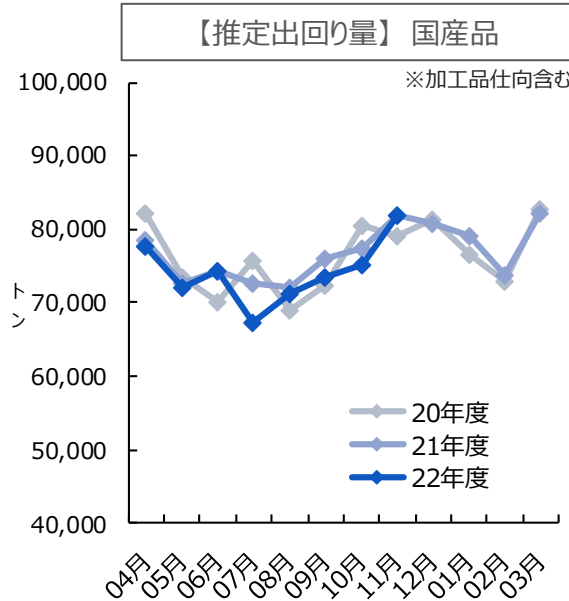
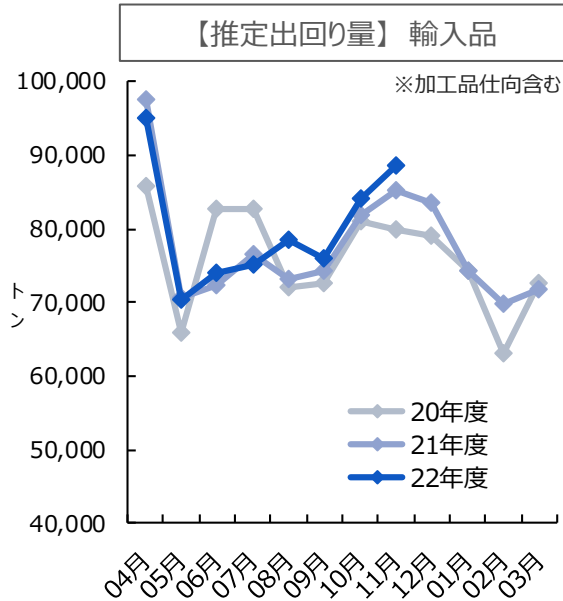
輸入品 + 18.9 % (+ 23,828 t)

【国産相場】（4月～12月平均）

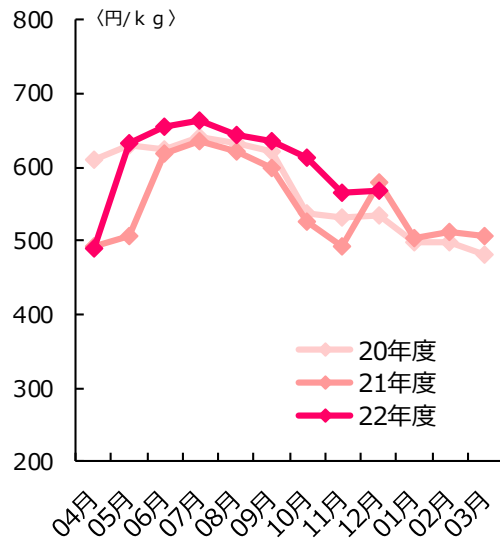
和牛去勢A4 東京市場 税込み 2,353 (▲ 53) 円/kg

資料：農水省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」、在庫量は農畜産業振興機構調べ。
 注：数量は部分肉ベース。輸入量は煮沸肉並びにくず肉のうちほほ肉及び頭肉のみ含む。

04 外部環境データ：食肉 推定出回り量・国産相場（豚肉）



【国産相場】国産豚枝肉 上物 東京市場 税込み



【推定出回り量】（4月～11月期間計） ※加工品仕向含む

合計 ▲ 0.1 %
 輸入品 + 1.6 %
 国産品 ▲ 2.0 %

【11月推定期末在庫】（前年比）

輸入品 + 26.4 % (+ 40,805 t)

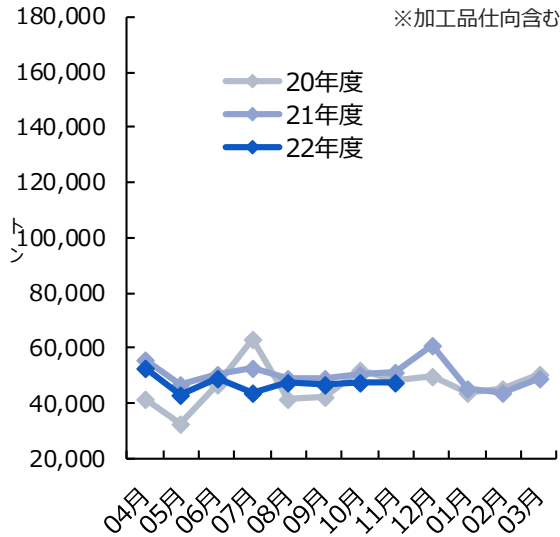
【国産相場】（4月～12月平均）

国産豚枝肉 上物 東京市場 税込み 607円 (+ 44) 円/kg

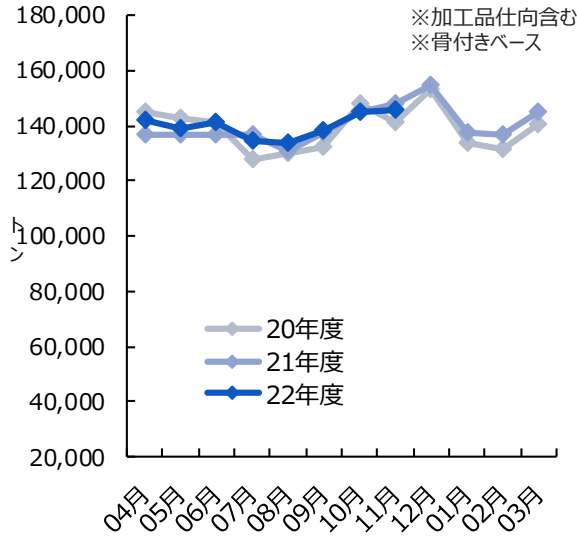
資料：農水省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」、在庫量は農畜産業振興機構調べ。
 注：数量は部分肉ベース。輸入量は煮沸肉並びにくず肉のうちほほ肉及び頭肉のみ含む。

04 外部環境データ：食肉 推定出回り量・国産相場（鶏肉）

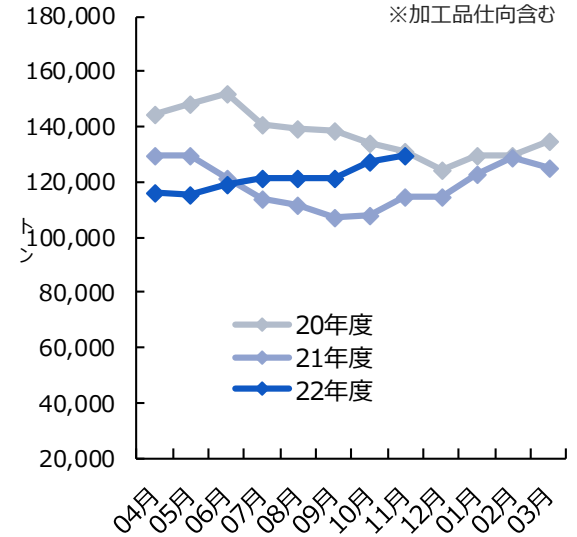
【推定出回り量】輸入品



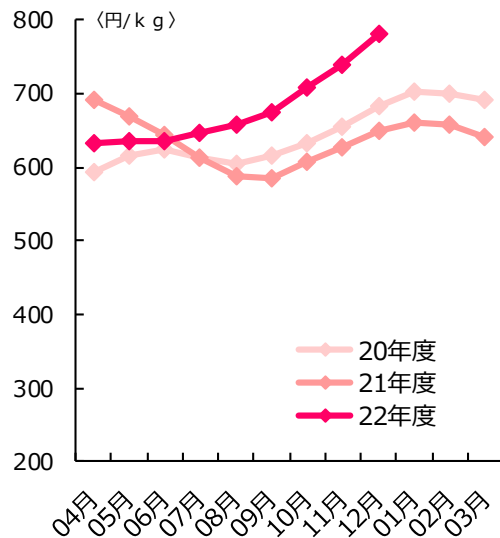
【推定出回り量】国産品



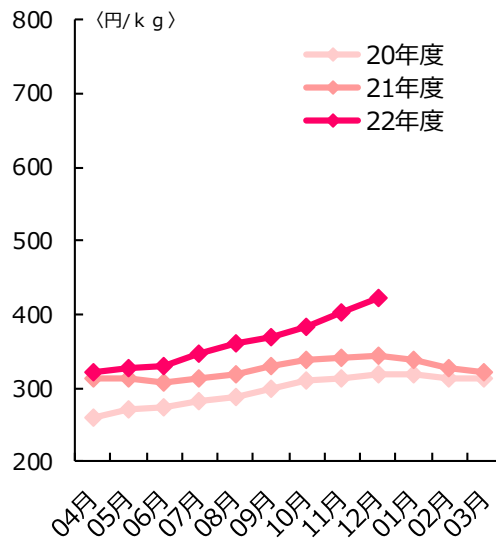
【期末推定在庫】輸入品



【国産相場】国産鶏肉 もも 東京 税抜き



【国産相場】国産鶏肉 むね 東京 税抜き



【推定出回り量】（4月～11月期間計）※加工品仕向含む

合計 ▲ 1.1 %
 輸入品 ▲ 7.0 %
 国産品 + 1.0 %

【11月推定期末在庫】（前年比）
 輸入品 + 13.3 %（+ 15,268 t）

【国産相場】（4月～12月平均）
 国産鶏肉 もも 東京 税抜き 679（+ 49）円/kg
 国産鶏肉 むね 東京 税抜き 362（+ 38）円/kg

資料：農水省「食肉流通統計」、財務省「貿易統計」、
 在庫量は農畜産業振興機構調べ。
 注：数量は部分肉ベース。輸入量は煮沸肉並びにくず
 肉のうちほほ肉及び頭肉のみ含む。

お問合せ先

〒153-8587 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

広報 I R 室

電話：03-5723-6889

会社HPからもお問合せいただけます。

<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

本資料において掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであることをご承知おさください。

なお、本資料の情報は投資家の皆様に当社への理解を深めていただくことを目的とするものであり、投資勧誘を行うものではありません。

また、掲載された内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等があった場合、さらにデータのダウンロード等によって障害が生じた場合に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。